# 第２章 令和７年度活動詳細

## １．補助教材アプリ開発

令和６年度開発したアプリをブラッシュアップ（特徴的な部分を抜粋掲載）

トップ画面




登録販売者資格取得向け操作流れ例




登録販売者資格取得向け操作流れ例



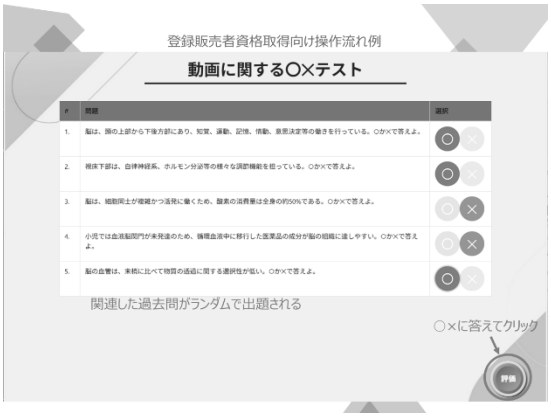

登録販売者資格取得向け操作流れ例




登録販売者資格取得向け操作流れ例




登録販売者資格取得向け操作流れ例




登録販売者資格取得向け操作流れ例
2. 視床下部は、自律神経系、ホルモン分泌等の様々な調節機能を担っている。○か×で答えよ。
正解
【解説】記述文通り
3. 脳は、細胞同士が複雑かつ活発に働くため、酸素の消費量は全身の約50%である。○か×で答えよ。
正解
【解説】脳は、細胞同士が複雑かつ活発に働くため、酸素の消費量は全身の約20%である。
4. 小児では血液脳関門が未発達のため、鎮痛血液中に移行した医薬品の成分が脳の組織に達しやすい。○か×で答えよ。
不正解
【解説】記述文通り
5. 脳の血管は、末梢に比べて物質の透過に関する選択性が低い。○か×で答えよ。
不正解
【解説】脳の血管は、末梢に比べて物質の透過に関する選択性が高い。タンパク質などの大分子や小分子でもイオン化した物質は血液中から脳の組織へ移行しにくい（血液脳関門）。
正解数と解答解説
あなたの正解数は: 3/5
問題
戻る

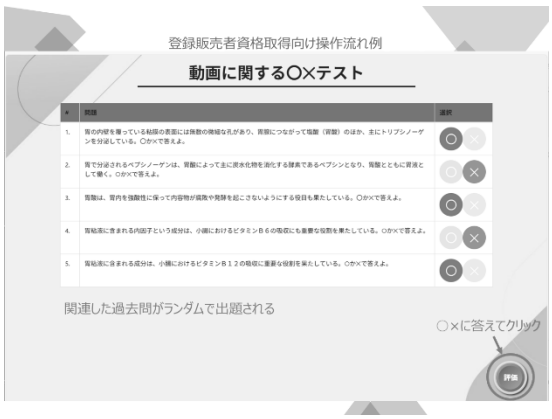

登録販売者資格取得向け操作流れ例
登録販売者〈資格取得向け〉
クリック
神経系 動画
消化器系 動画
薬に関する 動画
試験対策 テスト
・中枢神経と末梢（脊髄反射）
・運動神経と感覚神経
・体性神経と自律神経（自律神経）
・自律神経の構造と受容神経と副交感神経）
・消化器官全般
・咽頭
・食道
・胃
・小腸
・大腸
・直腸・肛門
・十二指腸
・肝臓
・膵臓
・胆嚢
・内服薬の体内での流れ方
・外用薬/体中を巡る血液と循環
・外用薬/皮膚に留まっていく皮膚と循環
・外用薬/湿布薬の効き方
【過去5年間】
・神経系
・消化器系
☆当年度対応、出題傾向の見直しなど


登録販売者資格取得向け操作流れ例
消化器官全般
クリック
咽頭
食道
胃
十二指腸
小腸
大腸
直腸
肛門
肝臓
膵臓
資格取得向けメニュー


登録販売者資格取得向け操作流れ例
咽頭
食道
胃
十二指腸
小腸
大腸
直腸
肛門
肝臓
膵臓
消化器系、食べ物がどのように通るのか
消化器官
胃
上腹部にある中空の臓器。中身が空の状態では前平に縮んでいて、食道から内容物が送られてくると胃壁の平滑筋が弛緩し容積が広がります。食道から送られてきた内容物は、胃の運動によって胃液と混和されかゆ場となって小腸に送り出されます。溶解する時間は数時間で、炭水化物主体の食品は比較的短く、脂質分の多い食品は比較的長く溶解します。
クリック
3D
問題


登録販売者資格取得向け操作流れ例
咽頭
食道
胃
十二指腸
小腸
大腸
直腸
肛門
肝臓
膵臓
3D映像で視聴
胃は、食べたものをどろどろにして、吸収しやすくする"消化"というはたらきをしています。
戻る


登録販売者資格取得向け操作流れ例
咽頭
食道
胃
十二指腸
小腸
大腸
直腸
肛門
肝臓
膵臓
動画を視聴後、もしくは途中でも関連する問題で確認ができる
消化器系、食べ物がどのように通るのか
消化器官
胃
上腹部にある中空の臓器。中身が空の状態では前平に縮んでいて、食道から内容物が送られてくると胃壁の平滑筋が弛緩し容積が広がります。食道から送られてきた内容物は、胃の運動によって胃液と混和されかゆ場となって小腸に送り出されます。溶解する時間は数時間で、炭水化物主体の食品は比較的短く、脂質分の多い食品は比較的長く溶解します。
クリック
3D
問題


登録販売者資格取得向け操作流れ例
動画に関する○×テスト
No.
問題
選択
1. 胃の内壁を覆っている粘膜の表面には無数の微細な孔があり、胃腺につながって塩酸（胃酸）のほか、主にトリプシノーゲンを分泌している。○か×で答えよ。
2. 胃で分泌されるペプシノーゲンは、胃酸によって主に炭水化物を消化する酵素であるペプシンとなり、胃酸とともに胃液として働く。○か×で答えよ。
3. 胃酸は、胃内を強酸性に保って内容物が腐敗や発酵を起こさないようにする役目も果たしている。○か×で答えよ。
4. 胃粘液に含まれる内因子という成分は、小腸におけるビタミンＢ６の吸収にも重要な役割を果たしている。○か×で答えよ。
5. 胃粘液に含まれる成分は、小腸におけるビタミンＢ１２の吸収に重要な役割を果たしている。○か×で答えよ。
関連した過去問がランダムで出題される
○×に答えてクリック
評価


登録販売者資格取得向け操作流れ例
【解説】胃の内壁を覆っている粘膜の表面には無数の微細な孔があり、胃腺につながって塩酸（胃酸）のほか、主にペプシノーゲンを分泌している。
2. 胃で分泌されるペプシノーゲンは、胃酸によって主に炭水化物を消化する酵素であるペプシンとなり、胃酸とともに胃液として働く。○か×で答えよ。
不正解
【解説】ペプシノーゲンは、胃酸によって主にタンパク質を消化する酵素であるペプシンとなり、胃酸とともに胃液として働く。
3. 胃酸は、胃内を強酸性に保って内容物が腐敗や発酵を起こさないようにする役目も果たしている。○か×で答えよ。
正解
【解説】記述文通り
4. 胃粘液に含まれる内因子という成分は、小腸におけるビタミンＢ６の吸収にも重要な役割を果たしている。○か×で答えよ。
不正解
【解説】内因子は、小腸におけるビタミンＢ１２の吸収にも重要な役割を果たしている。
5. 胃粘液に含まれる成分は、小腸におけるビタミンＢ１２の吸収に重要な役割を果たしている。○か×で答えよ。
正解
【解説】記述文通り
正解数と解答解説
あなたの正解数は: 2/5
問題
戻る

登録販売者資格取得向け操作流れ例

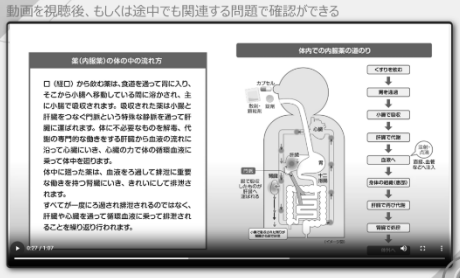



登録販売者資格取得向け操作流れ例



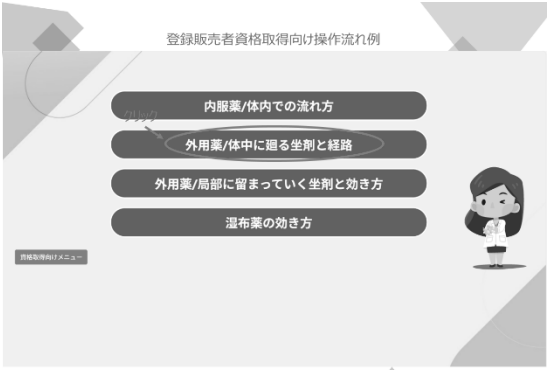

登録販売者資格取得向け操作流れ例

動画を視聴後、もしくは途中でも関連する問題で確認ができる



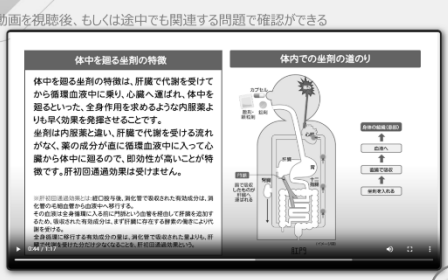

消化器管と同じで○×問題がランダムで出題される

登録販売者資格取得向け操作流れ例




登録販売者資格取得向け操作流れ例

動画を視聴後、もしくは途中でも関連する問題で確認ができる




消化器管と同じで○×問題がランダムで出題される

登録販売者資格取得向け操作流れ例




登録販売者資格取得向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例



登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例

パッケージおよび使用方法・成分表が表示される。



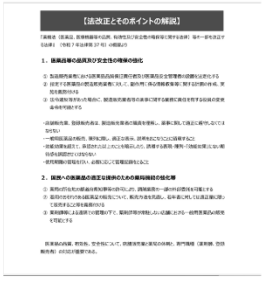



登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例

法改正の要点を整理・反映







登録販売者有資格者向け操作流れ例



登録販売者有資格者向け操作流れ例



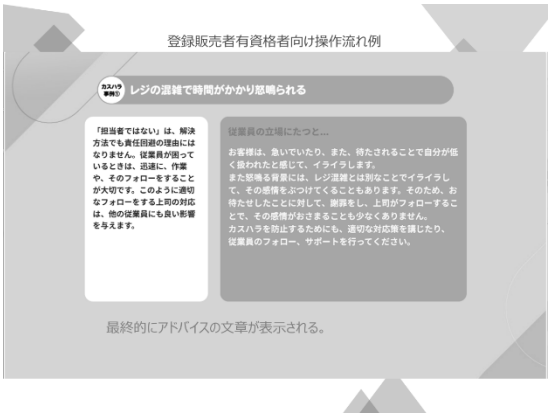

登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例




登録販売者有資格者向け操作流れ例



## ２．実証実験

（１）実証実験概要

登録販売者有資格者と資格取得者向けの実証実験、および指導者側の立場として企業教育担当者に実施。

①実施先・人数・日時

| 実施先 | 人 数 | 日 時 |
|---|---|---|
| 北日本医療福祉専門学校 | 有資格者<br>１１名 | 令和７年１１月１４日（金）<br>１０：５０～１２：２０ |
| | １１名 | 令和８年1月２８日（水）<br>１０：５０～１２：２０ |
| 姫路ハーベスト医療福祉専門学校 | １８名 | 令和７年１２月１７日（水）<br>９：００～１２：１０ |
| ゴダイ株式会社 | ２名 | 令和８年1月２６日（月）<br>１０：４０～１２：１０ |

②対象：

・登録販売者有資格内定者

・登録販売者資格取得を目指す専門学校１年生

・企業教育担当者

③手法：

・対面式で実施

・登録販売者資格取得者向け：補助教材アプリを授業の中に導入し実施

・登録販売者有資格者：補助教材アプリを使って学びの振り返りや就職前に必要なＯＴＣ医薬品最新情報、ハラスメント対応方法、法改正などを学習

（２）実証実験風景およびアンケート

①北日本医療福祉専門学校　有資格者向け

【実証実験風景】






②ヒアリング結果（同一意見は一つとしています）

■操作方法

・操作しやすかった

■全体的なアプリのボリューム感について

・ちょうどよかった

・これ以上多いと混乱する

■アプリ内容に関して

《登録販売者編》

・量はこれでいいと思う、これ以上ありすぎると疲れてしまう

・消化器の臓器動画がもっとリアルでもよかった

・消化器の臓器動画がもっとマンガ・アニメ寄りがよかった

・漢方関係の動画があるといいと思う

《ステップアップ編》

・いいと思う

・ハラスメントに関する内容がよかった。就職前に知ることができてよかった

・ハラスメント項目が、どれも身近なものでイメージしやすく相談できる内容がイメージできた

・法改正も知識として必要だと分かった。読みやすく理解できる内容であった

・医療情報も見やすく出来ていた

・就職後、学ぶことがまだあることがわかってよかった

■見せ方のレベルなどについて

《登録販売者編》

・学び始めるときに最初にしっかりと理解しなければならないから消化器管系の役割が動画や○×でできるのがよい

・学び始めの段階で消化器管系の理解を得るための補助教材としてはいいと思う

・これで十分なレベルであるが、ＰＣやタブレットがないと自宅でできないことがもどかしい

・聞き取りやすい音声で、文章も分かりやすくなっているのでいいと思う

・入りやすい作り方になっている

《ステップアップ編》

・最低限必要なものとして認識できる分量とレベルが整理されていると思う

・入りやすい

・資格取得した後に学ぶことは多いと思うが、一段ずつ上がって知識を習得する上では、ハードルが下がっている感じがするのでいいと思う

・なじみがない法改正が整理されていてよかった

■その他、要望等

・スマホで見られるアプリがあるといつでも勉強できるのでそのようにしてほしい

・ＡＲは面白かった。スマホとＰＣで見比べると大きさが違っていて、ＰＣがより分かりやすかった

・ＡＲは代表的な症状があってその症状に効く代表的な成分があるのがよかった。学んだという実感と自分の成長が見えた感じがした

③北日本医療福祉専門学校　資格取得者向け

【実証実験風景】







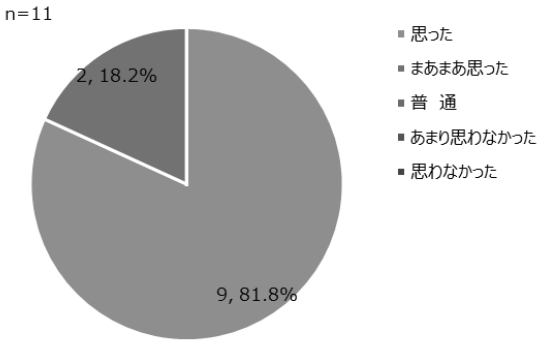


## ④アンケート結果

### 1.操作しやすいと思いましたか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 9 | 81.8% |
| まあまあ思った | 2 | 18.2% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |

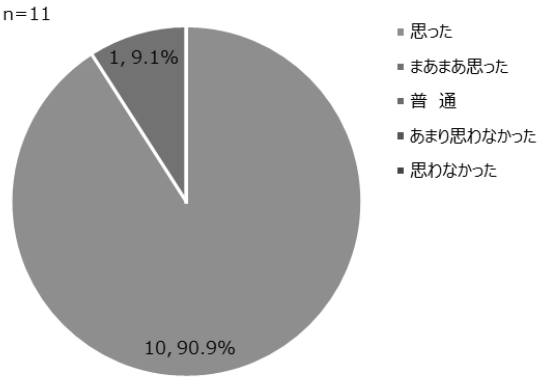



全員から操作しやすいと回答が得られた

### 2.コンテンツは役立つと思いましたか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 10 | 90.9% |
| まあまあ思った | 1 | 9.1% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |

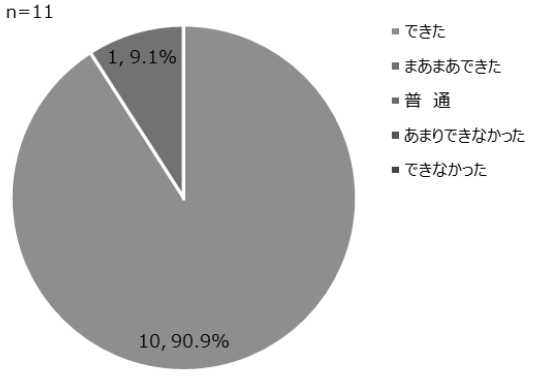



全員からコンテンツが役立つと回答が得られた

### 3.テキストよりスムーズにイメージできましたか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| できた | 10 | 90.9% |
| まあまあできた | 1 | 9.1% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまりできなかった | 0 | 0% |
| できなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |

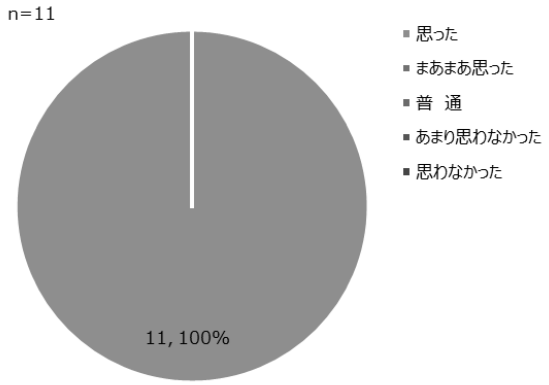



全員からテキストよりスムーズにイメージができたと回答が得られた

4.動画や映像は見やすいと思いましたか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 11 | 100% |
| まあまあ思った | 0 | 0% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |

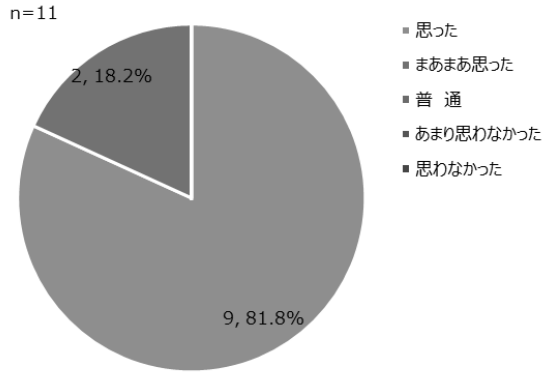



全員から動画や映像が見やすいと回答が得られた

5.解説は理解しやすかったですか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 9 | 81.8% |
| まあまあ思った | 2 | 18.2% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |

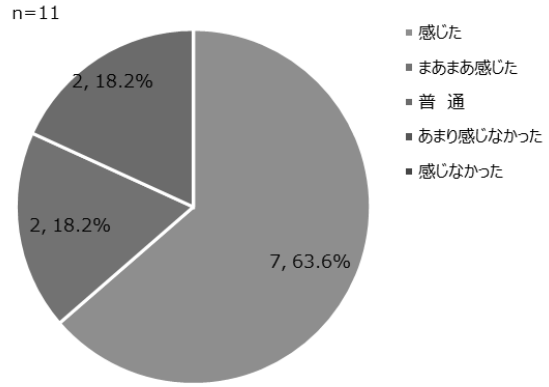



全員から解説は理解しやすかったと回答が得られた

6.動画の長さや解説のテンポは適切だと感じましたか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 感じた | 7 | 63.6% |
| まあまあ感じた | 2 | 18.2% |
| 普　通 | 2 | 18.2% |
| あまり感じなかった | 0 | 0% |
| 感じなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |

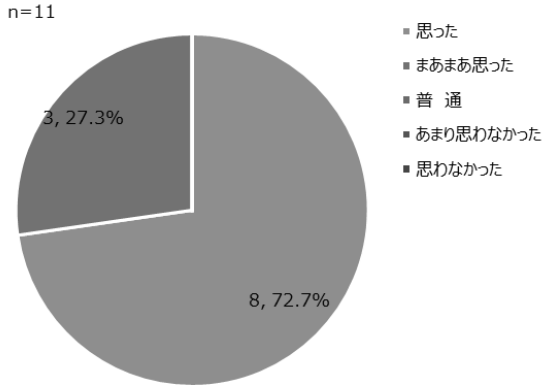



８１．８%の受講生から動画の長さや店舗は適切と回答が得られた

7.アプリは便利と思いましたか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 8 | 72.7% |
| まあまあ思った | 3 | 27.3% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |

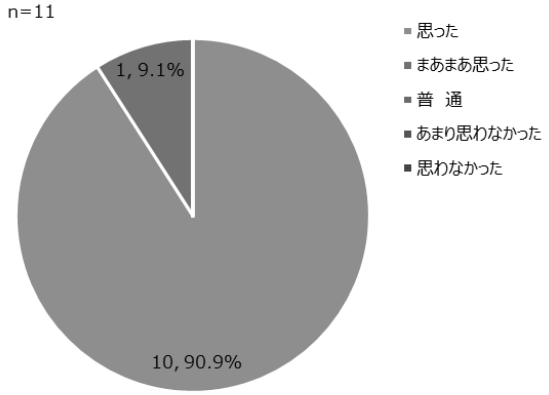



全員からアプリは便利と回答が得られた

8.使用したアプリは理解を深めるのに役立つと思いましたか

n=11

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 10 | 90.9% |
| まあまあ思った | 1 | 9.1% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 11 | 100% |




全員から理解を深めるのに役立つと回答が得られた

9.その他ご意見や要望等がございましたらお願いします 1

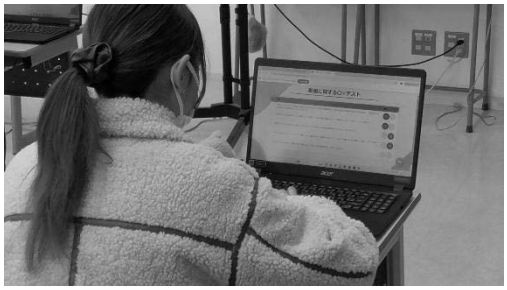
・さらなるコンテンツに期待しています
・実際の正答と表示される差があった
・問題を増やしてほしい

## ⑤姫路ハーベスト医療福祉専門学校　資格取得者向け

【実証実験風景】





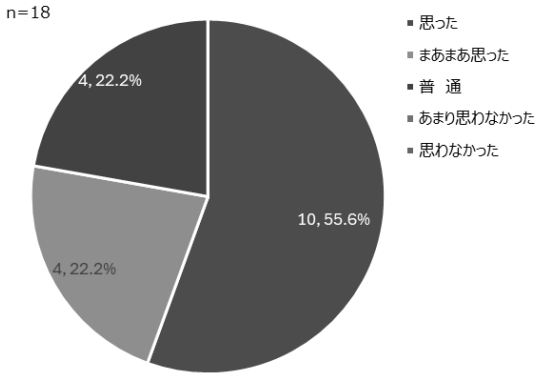


## ⑥アンケート結果

1.操作しやすいと思いましたか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 10 | 55.6% |
| まあまあ思った | 4 | 22.2% |
| 普　通 | 4 | 22.2% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |

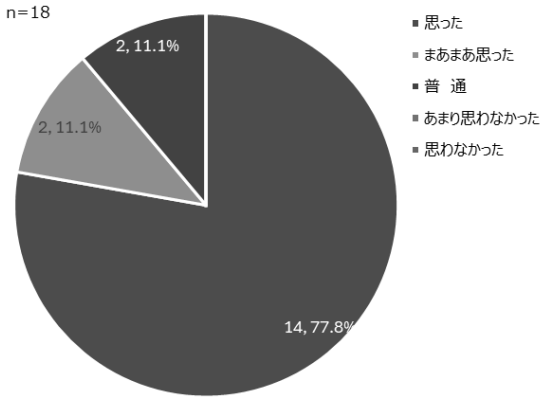



７７．８%の受講生から操作しやすいと回答が得られた

2.コンテンツは役立つと思いましたか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 14 | 77.8% |
| まあまあ思った | 2 | 11.1% |
| 普　通 | 2 | 11.1% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |

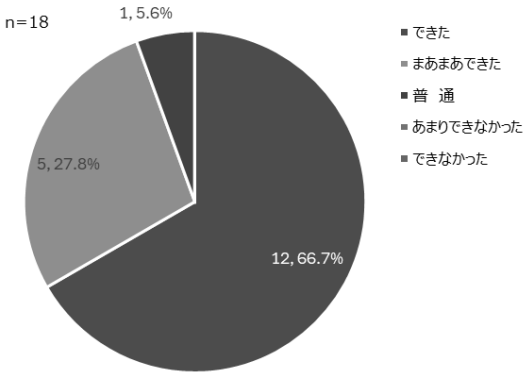



全員からコンテンツが役立つと回答が得られた

3.テキストよりスムーズにイメージできましたか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| できた | 12 | 66.7% |
| まあまあできた | 5 | 27.8% |
| 普　通 | 1 | 5.6% |
| あまりできなかった | 0 | 0% |
| できなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |

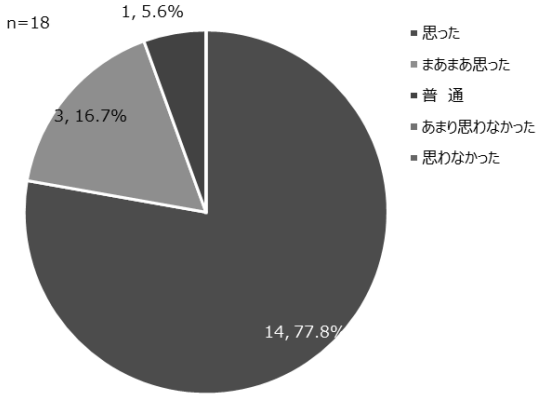



９４．４%の受講生からテキストよりイメージができたと回答が得られた

4.動画や映像は見やすいと思いましたか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 14 | 77.8% |
| まあまあ思った | 3 | 16.7% |
| 普　通 | 1 | 5.6% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |

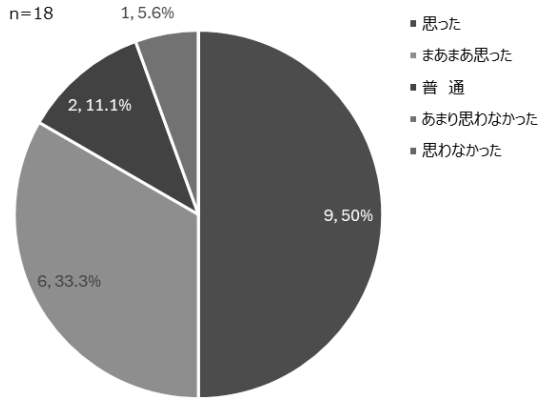



９４．４%の受講生から動画や映像が見やすいと回答が得られた

5.解説は理解しやすかったですか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 9 | 50% |
| まあまあ思った | 6 | 33.3% |
| 普　通 | 2 | 11.1% |
| あまり思わなかった | 1 | 5.6% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |

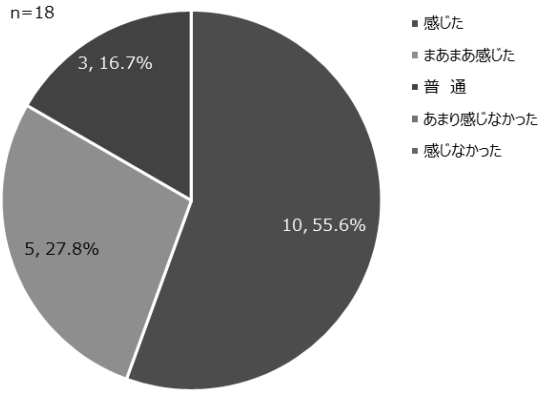



８３．３%の受講生から解説は理解しやすかったと回答が得られた

6.動画の長さや解説のテンポは適切だと感じましたか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 感じた | 10 | 55.6% |
| まあまあ感じた | 5 | 27.8% |
| 普　通 | 3 | 16.7% |
| あまり感じなかった | 0 | 0% |
| 感じなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |

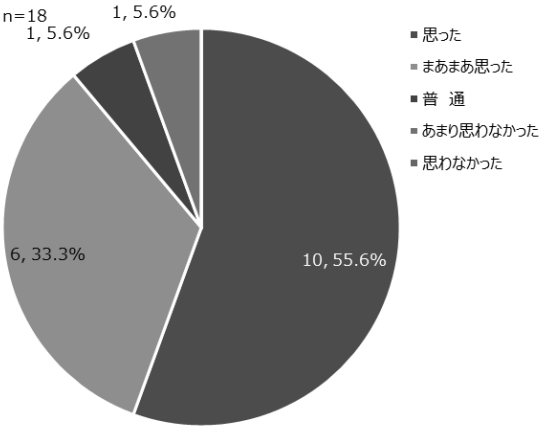



８３．４%の受講生から動画の長さやテンポが適切と回答が得られた

7.アプリは便利と思いましたか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 10 | 55.6% |
| まあまあ思った | 6 | 33.3% |
| 普　通 | 1 | 5.6% |
| あまり思わなかった | 1 | 5.6% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |

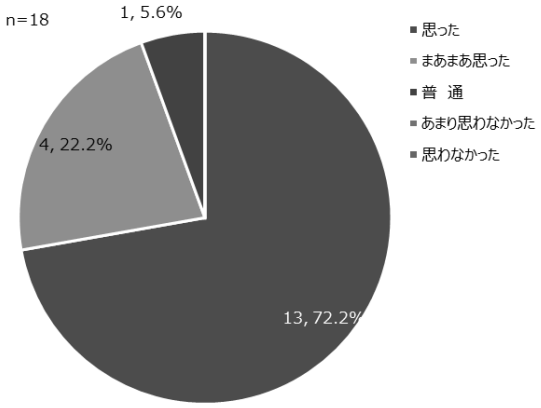



８８．９%の受講生からアプリは便利と回答が得られた

8.使用したアプリは理解を深めるのに役立つと思いましたか

n=18

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 13 | 72.2% |
| まあまあ思った | 4 | 22.2% |
| 普　通 | 1 | 5.6% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 18 | 100% |




９４．４%の受講生から理解を深めるのに役立つと回答が得られた

9.その他ご意見や要望等がございましたらお願いします

・問題がダブっているのが多かった

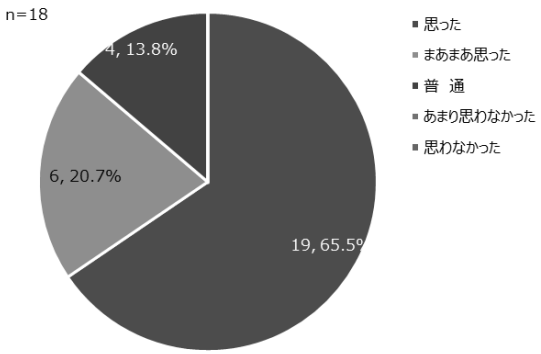
→文章の言い回しが気付かない程度小さく変わっているのがあるため、同じ問題というように感じてしまう受講生がいた。

## ⑦２校合算アンケート結果

1.操作しやすいと思いましたか

n=29

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 19 | 65.5% |
| まあまあ思った | 6 | 20.7% |
| 普　通 | 4 | 14% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

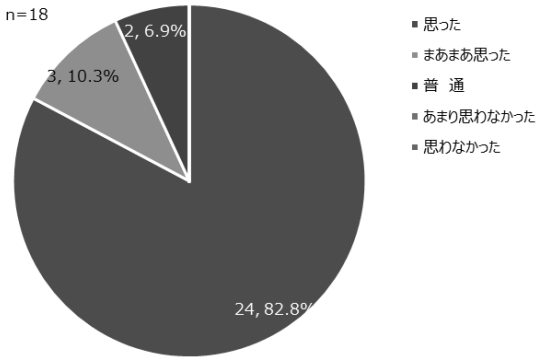



８６．２%の受講生から操作しやすいと回答が得られた

2.コンテンツは役立つと思いましたか

n=29

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 24 | 82.8% |
| まあまあ思った | 3 | 10.3% |
| 普　通 | 2 | 6.9% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

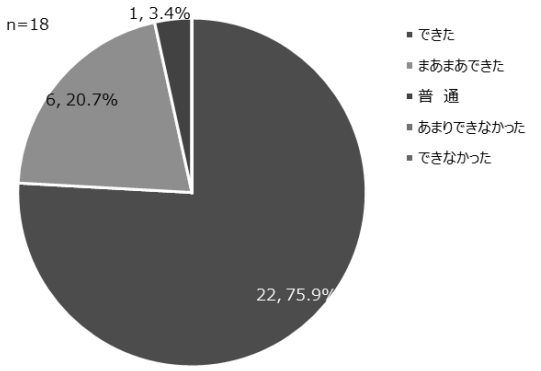



９３．１%の受講生からコンテンツは役立つと回答が得られた

3.テキストよりスムーズにイメージできましたか

n=29

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| できた | 22 | 75.9% |
| まあまあできた | 6 | 20.7% |
| 普　通 | 1 | 3.4% |
| あまりできなかった | 0 | 0% |
| できなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

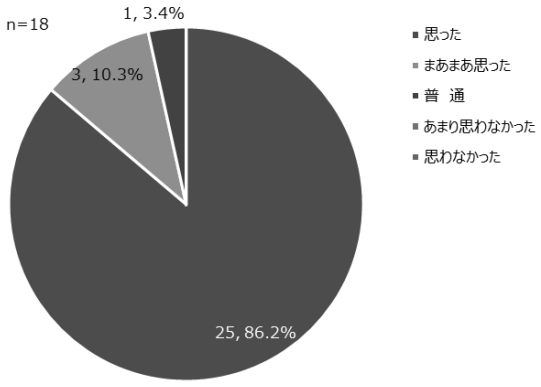



９６．６%の受講生からテキストよりスムーズにイメージができたと回答が得られた

4.動画や映像は見やすいと思いましたか

n=29

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 25 | 86.2% |
| まあまあ思った | 3 | 10.3% |
| 普　通 | 1 | 3.4% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

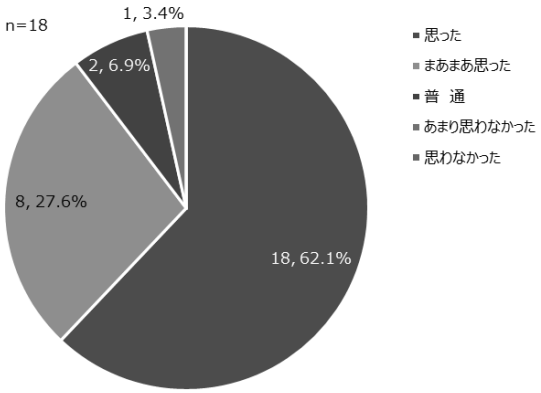



９６．５%の受講生から動画や映像は見やすいと回答が得られた

5.解説は理解しやすかったですか

n=29

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 18 | 62.1% |
| まあまあ思った | 8 | 27.6% |
| 普　通 | 2 | 6.9% |
| あまり思わなかった | 1 | 3.4% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

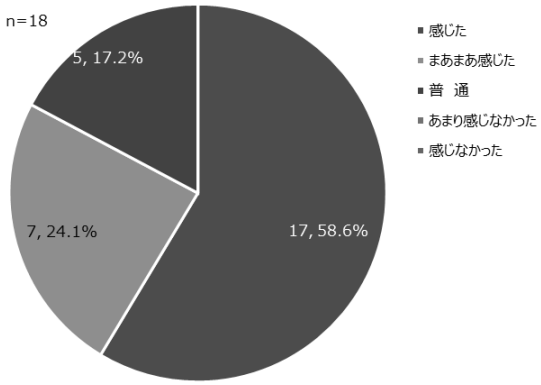



８９．７%の受講生から解説は理解しやすいと回答が得られた

6.動画の長さや解説のテンポは適切だと感じましたか

n=29

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 感じた | 17 | 58.6% |
| まあまあ感じた | 7 | 24.1% |
| 普　通 | 5 | 17.2% |
| あまり感じなかった | 0 | 0% |
| 感じなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

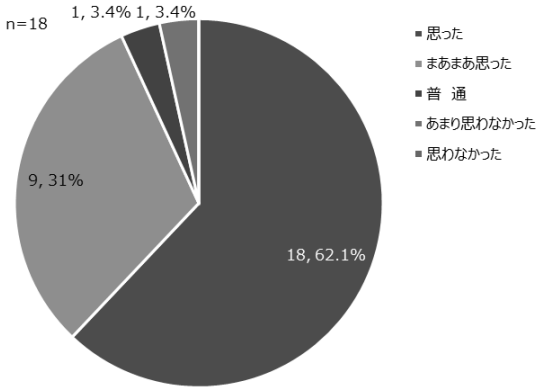



８２．７%の受講生から動画の長さや解説のテンポは適切と回答が得られた

7.アプリは便利と思いましたか

n=29

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 18 | 62.1% |
| まあまあ思った | 9 | 31% |
| 普　通 | 1 | 3.4% |
| あまり思わなかった | 1 | 3.4% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

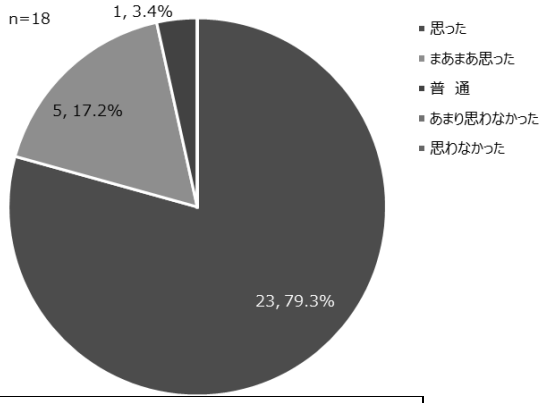



９２．１%の受講生からアプリは便利と回答が得られた

8.使用したアプリは理解を深めるのに役立つと思いましたか

n=29

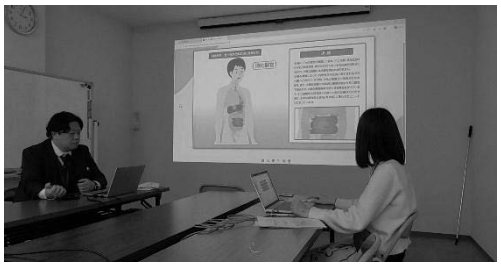
| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 23 | 79.3% |
| まあまあ思った | 5 | 17.2% |
| 普　通 | 1 | 3.4% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 29 | 100% |

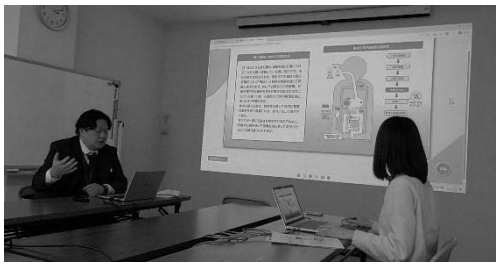



９６．５%の受講生から理解を深めるのに役立つと回答が得られた

## ⑧企業実証実験

【実証実験風景】







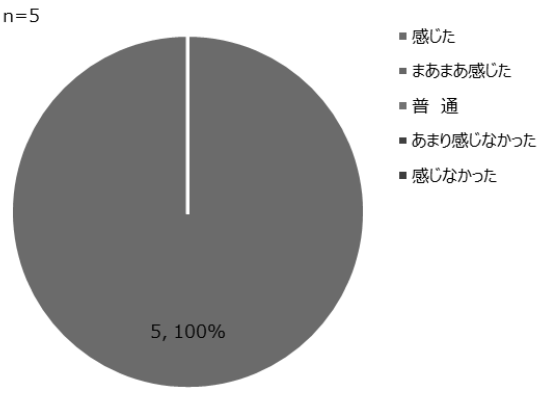



## ⑨講師アンケート

1.授業の進行はスムーズになったと感じましたか

n=5

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 感じた | 5 | 100% |
| まあまあ感じた | 0 | 0% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり感じなかった | 0 | 0% |
| 感じなかった | 0 | 0% |
| | 5 | 100% |

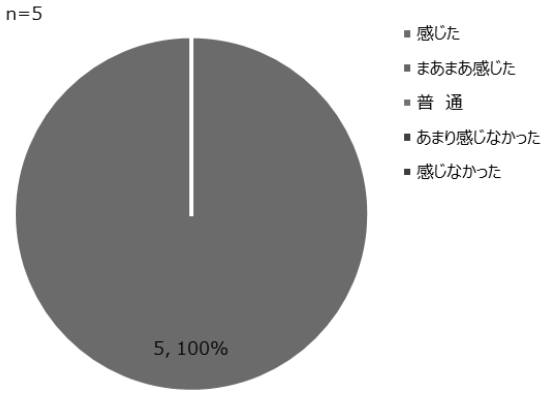



全員から授業の進行がスムーズになったと回答が得られた

2.動画や映像は必要と感じましたか

n=5

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 感じた | 5 | 100% |
| まあまあ感じた | 0 | 0% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり感じなかった | 0 | 0% |
| 感じなかった | 0 | 0% |
| | 5 | 100% |

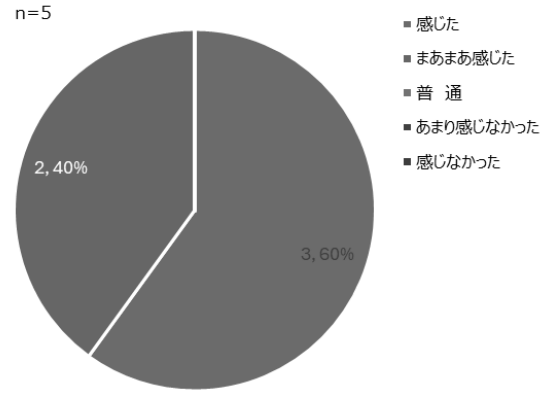



全員から動画や映像は必要と回答が得られた

3.動画の解説は授業をスムーズに進める上でテンポは適切だと感じましたか

n=5

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 感じた | 3 | 60% |
| まあまあ感じた | 2 | 40% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり感じなかった | 0 | 0% |
| 感じなかった | 0 | 0% |
| | 5 | 100% |

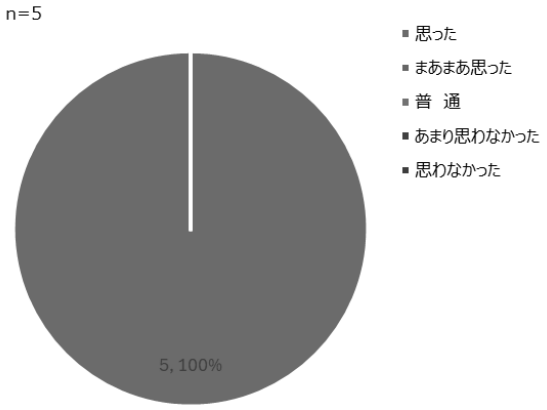



全員から動画の解説のテンポがスムーズで適切だったと回答が得られた

4.使用したアプリは受講生が理解を深めるのに役立つと思いましたか

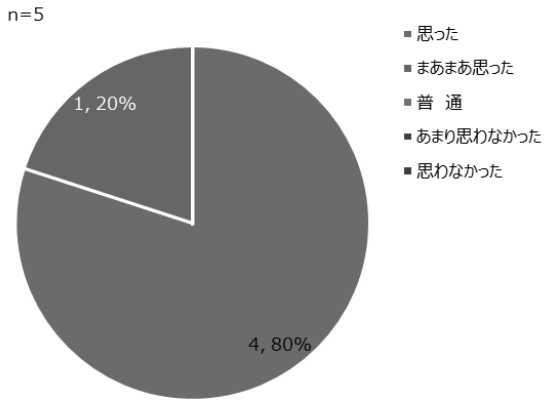
n=5

| 項　目 | 回答数 | 割　合 |
|---|---|---|
| 思った | 5 | 100% |
| まあまあ思った | 0 | 0% |
| 普　通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 5 | 100% |




全員から理解を深めるのに役立つと回答が得られた

5.教材作成や教える（＝説明）時間が軽減できると感じましたか



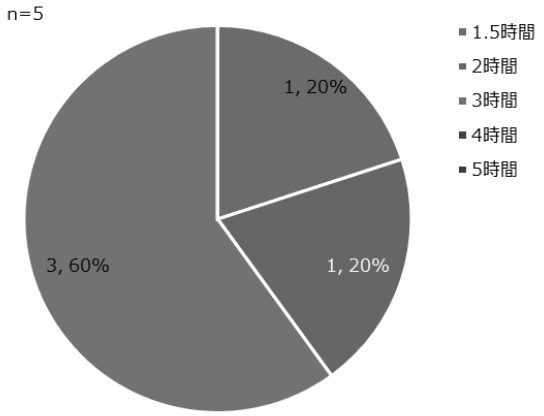

n=5

| 項 目 | 回答数 | 割 合 |
|---|---|---|
| 思った | 4 | 80% |
| まあまあ思った | 1 | 20% |
| 普 通 | 0 | 0% |
| あまり思わなかった | 0 | 0% |
| 思わなかった | 0 | 0% |
| | 5 | 100% |

全員から教材作成や教える時間が軽減できると回答が得られた

6.上記５で「思った」「まぁまぁ思った」に回答した方にお聞きします。１週間でどれくらいの負担軽減につながると思いますか

約　　時間程度




n=5

| 項 目 | 回答数 | 割 合 |
|---|---|---|
| 1.5時間 | 1 | 20% |
| 2時間 | 1 | 20% |
| 3時間 | 3 | 60% |
| 4時間 | 0 | 0% |
| 5時間 | 0 | 0% |
| | 5 | 100% |

週１．３時間～３時間の負担軽減につながると回答が得られた

7.その他ご意見や要望等がございましたらお願いします

・３D 動画も他の臓器をうすく表示した状態で対象の器官に色がついているとさらに位置関係が分かりやすくなると感じた
・動画の内容に対して説明（解説）が多かったように感じた。動画に説明を照らし合わせるだけでもよかったのではないかと思った
・動画を視聴しながらできるため、今よりもスムーズに指導できる効果はあると思う
・動画と映像があることで入社したてで学習し始めた社員はイメージしやすい。特に体の中のくすりの流れ方のところは言葉で伝えるのが難しいところのため、内服薬と坐剤の動画はイメージしやすくなっているので理解にかける時間が短くなると思う
・自分に合う YouTube 動画を探す手間と時間、労力がかなり減る
・補助教材としてのスタンスがよい。他の章もあるとよい

# 第 ３ 章 令和7年度総括と
# 事業終了後について

# 第３章 令和７年度総括と事業終了後について

## １．補助教材アプリ開発

令和６年度の課題である箇所を本年度改善して補助教材アプリを作り上げた。ＡＲや、Ｚｏｏｍを使った双方向機能を充実させ、事業当初の計画通りのオンラインでも授業参加可能な補助教材アプリを仕上げることができた。実証実験の受講生や講師アンケートにおいても高い評価を得ることができた。

しかしながら、実証実験では残念ながら様々な機能を使いこなすところまで至っていない。現段階においても十分知識の定着や理解度向上、講師負担軽減等のタームパフォーマンス効果が出せるものではあると思われるが、もっと多くの方々に使っていただく必要はあると考える。

## ２．実証実験

本年度は、登録販売者有資格者で企業内定者および専門学校１年生、企業教育担当者に対して実証実験を実施した。

（１）実証実験

①実施先・人数・日時

| 実施先 | 人 数 | 日 時 |
|---|---|---|
| 北日本医療福祉専門学校 | １１名 | 令和７年１１月１４日（金）<br>１０：５０～１２：２０ |
| | １１名 | 令和８年１月２８日（水）<br>１０：５０～１２：２０ |
| 姫路ハーベスト医療福祉専門学校 | １８名 | 令和７年１２月１７日（水）<br>９：００～１２：１０ |
| ゴダイ株式会社 | ２名 | 令和８年１月２６日（月）<br>１０：４０～１２：１０ |

②対象：

・登録販売者資格取得を目指す専門学校１年生

・令和８年度ドラッグストアチェーン就職内定者向け

・企業教育担当者

（２）アンケート結果からの考察

最終年度となったが、補助教材アプリ開発を手掛けるにあたり、本事業の事業計画当初掲げていた知識の定着、理解度の向上、講師等の負担軽減につながるタイムパフォーマンスを意識して行ってきた。

その結果、受講生アンケートでは、テキストよりもスムーズに理解できるが９６．６%、動画や製造は見やすい９６．５%、アプリは便利９２．１%、理解を深めるのに役立つ９６．５%の高い評価が得られた。

一方、講師アンケートでは、授業に進行がスムーズになった、動画や映像が必要、理解を深めるのに役立つ、教材作成や教える時間が軽減できるといった項目で全員から肯定的な評価を得られる結果となった。負担軽減では、１週間で１．５時間～３時間ということであった。

本事業で開発した補助教材アプリは、本試験では２０%程度の範囲内でしかないが、学ぶ際にはしっかり理解しなければいけないところで、消化器管一つに対して通常１時間～１．５時間を要するところ、短縮できる効果を生み出す可能性が高いことがアンケート結果からも見出せると考える。

## ３．令和７年度総括

本事業計画の知識の定着や理解度向上へのアプローチから、講師負担軽減につなげるタームパフォーマンスを考えたシステムの補助教材アプリの評価は、受講生・講師アンケートからも高い評価を得られた結果となった。

一方、実証実験では協力企業とのスケジュール調整が難航し、残念ながら当初描いていたものと違った展開となってしまったことが悔やまれる。

本事業は、多くの業界企業から賛同を得られていることもあり、終了後も企業連携を継続しながら本補助教材アプリを使って業界に寄与する取り組みを続けていく所存である。

## ４．事業終了後について

本事業で開発した補助教材アプリを本委託期間内で終わることなく、自走していくためには、費用面をクリアする必要がある。そのためには、補助教材アプリに反映する最新情報等の取得、ビジネス展開など連携体制の構築が必須である。

本事業を取り組みながら、多くの有識者の協力をいただき、最新情報の取得やビジネス展開の連携体制構築は作り上げることができた。

一方、補助教材アプリを維持継続しながらビジネスを実現させるには、更なる検証と改善を重ねることが必要で、今すぐの実現は難しい状況である。自走するために、事業終了後も団体や企業、専門学校に協力を仰ぎながら検討を重ね進めていく所存である。

# 第 ４ 章 会議録･参考資料

＜ 会　議　録 ＞

| | |
|---|---|
| 事業名 | 令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業」 |
| 会議名 | 第１回企画推進委員会会議 |
| 開催日時 | 令和７年７月２日（水）　１５：００～１７：００ |
| 場　所 | 姫路ハーベスト医療福祉専門学校　会議室・オンラインホスト |
| 出席者 | 委員：<br>【会議会場】<br>菅原　武（事務局責任者）、中野陽介（ゴダイ株式会社）、案浦幹雄、片山芳信（計４名）<br>【オンライン出席】<br>菊池朋恵、中込和哉、山本恭之、荒木文明、福田　修（計５名）<br>（合計９名） |

【 議 事 内 容 】

【 目　的 】

本事業の令和７年度の取り組みの共通認識を行うことを目的とした会議を開催した。

【 次　第 】

１_ １５：００　開　会

２_ １５：５０　議　事

（１）本事業の概要説明

（２）令和６年度実証実験の状況と成果の報告

（３）令和７年度の取り組み概要の説明

３_ １６：５０　その他（連絡事項・意見交換等）

４_ １７：００　閉　会

＜配布資料＞

【資料１】議事次第

【資料２】事業概要と取り組み（ＰＰＴＸ）

以下、次第に沿って会議が進められた

１．開　会

【菅原事務局責任者】この度は、本事業のご協力をいただきまして誠にありがとうございます。また、お忙しい中お時間をいただきましてありがとうございます。令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の

最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業」のキックオフ会議とした第一回企画推進委員会会議を開催いたします。本事業の取り組み最終年度となります。皆様のご協力をいただきながら、最終年度まで続けることができました。誠にありがとうございます。本年度も引き続きよろしくお願いいたします。

２．議　事

【菅原事務局責任者】オンライン参加の委員様には事前に資料をお送りさせていただいています。会議にお越しの委員の皆様は、お手元の資料をご確認願います。画面にも映しながらご説明していきます。本日の会議は、昨年度の取り組みの振り返りから、今年度の作業についてご説明していきたいと思います。事業の趣旨や目的、構成機関は、資料２～３ページに記載しています。本事業の趣旨と目的は、「登録販売者」の資格取得に掛かる時間と外部研修（継続研修）内容の理解向上、さらには、ドラッグストア等の店舗管理を行う管理職や管理職有望者に対して、効率的かつ効果的な教育プログラムと補助教材ツール（アプリ）開発を作ることを目的とする。補助教材ツール（アプリ）開発は、一番躓きやすいと言われている消化器系や神経をはじめ、薬の作用、接客技術といった部分に焦点をあてて理解に掛ける時間数の軽減につなげる。このように、資格取得に掛ける時間や外部研修内容の理解向上に掛けるタイムパフォーマンスを上げ、日々の業務に対する人的負担を軽減することが可能となり、人材不足解消につなげる効果も見込まれるということを目標に取り組んでいます。

構成機関につきましては記載していますように、様々な教育機関や団体、企業様のご協力をいただいています。

次に４ページの実施体制になります。本企画推進員会会議は、会議体の中で一番上に位置しています。その下に、プログラム開発ＷＧ、調査分析ＷＧ、実証実験ＷＧがあり、それぞれの役割を持って体制を整えています。それぞれ役割として、企画推進委員会は事業方針・スケジュール管理（進捗管理）、事業全体の運営・管理、各ＷＧの調整、成果報告書の編集・まとめなどを行います。プログラム開発ＷＧは知識・技能のアップデート教育プログラムの検討、テキスト内容の検討、アプリ内容の検討などを行います。課題分析ＷＧはプログラム開発ＷＧから提案される内容の検討・改善、企業ニーズ調査分析（社会人・企業内研修対象レベルの明確化等）、実証実験の分析・精査・改善などを行います。実証実験ＷＧは実証実験の実施・運営管理、ＫＰＩに沿った実証実験の効果検証、受講生アンケート、学習理解度データ収集・整理などを行います。

本事業は、ドラッグストアチェーン業界様向けに登録販売者資格とステップアップに対しての補助教材アプリを開発します（配布資料５ページ参照）。

昨年度アプリを使った実証実験の説明をいたします（配布資料６～１７ページ参照）風景となります。当校と北日本医療福祉専門学校の１年生を対象にした実証実験です。２月に１４名と１３名の計２７名実施しました。勉強を始めたばかりということでの対象として実施しました。会社で社会人中途採用するにしても登録販売者資格取得は必須になりますので、

他業種からドラッグストアチェーン業界に入る方々に向けたリスキリングにも同レベルとして使用できるのではと考えています。受講生アンケート結果は、成果報告書にも記載していますが、理解しやすくなったという回答が控え目でした。作業の納期的な問題で動画など開発が思うように進めることができなかったことがこの結果になっています。だた、体の中のくすりの流れ方などイメージしにくいところは肯定的な回答が多い結果となっています。ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇや過去問の○×などは十分に校正しきれていないところがあり、間違いもありましたので、現在校正をしています。講師アンケート結果は次の通りです。ある講師は、時短についてでは、触ったばかりで感覚としか言えないが、以下の点で慣れるともっと効果は上がると思う。課題作成など３０～４０分／日の時間負担軽減につながると思う。使い方や最初に要点を学生に伝える話し方に慣れると感覚ではあるが、少なくとも１０分／コマ程度は余裕が生まれると思う。その分、○×問題などの確認回数が増やせ、学生の理解度向上の効果はあると思う。負担軽減部分については、課題を作成、印刷する負担が減る。食べ物や薬がどのように体の中で流れているか、テキストやｙｏｕ　ｔｕｂｅよりもイメージができることで、説明を何度もすることがなくなる。学生に動画を見ながらよく聞いていてと捉えてほしい要点だけで学生が主体的に取り組む姿勢が見えること。ｅ‐ｌｅａｒｎｉｎｇのランダム出題と選択方式は良かった。課題として活用しやすい。特に良かったところでは、実際に学生自身で触って学ぶため、普段やる気がない学生もやる気が出てきたように思えたこと。食道を通る際に食べ物がどのように運ばれているのか、食道の動きがあるのが良かった。胃の動き、食べ物がないときと入ったときの胃の動きがあるのが良かった。他にはない。ｅ‐ｌｅａｒｎｉｎｇの過去問がランダムと選択式に出題を選べるところは、授業の課題や追い込み時期などに使える。１０問／回で出題されるもの良い。動画との連動の○×問題は、授業の中では授業内容に沿った問題が出題されるのではないので、使いづらいが、学ぶ上では電車内でもバス内、食事しながらといったながらでできるので良いと思った。課題・改善点は、動画との連動の○×問題の出題の仕方が悪かった。また、解答の見せ方をシンプルにした方が良いと思った。シンプル過ぎると間違った際の解説を読まないので、一概には言えないが。動画との連動の○×問題の正答も管理できるとなお良いと思ったが、問題が固定されていないため難しいとも思う。動画との連動の○×問題で問題を解いてから動画に戻らないと動かないので、繰り返しできるボタンがあると良いということであった。もう一人の講師は、負担軽減部分については、課題の作成負担軽減、学生に動画を見せることで、今回はいつも寝る学生が起きていた。普段それを注意することで授業が一旦止まる場合もあるため、その負担が少なくなることは大きい。過去問○×形式やｅ‐ｌｅａｒｎｉｎｇのランダム出題と選択方式は良い。課題として活用しやすい。特に良かったところは、実際に学生自身で触って学ぶため、刺激になることが良かった。食道を通る際に食べ物がどのように運ばれているのか、食道の動き、胃の動きで食べ物がないときと入ったときの胃の動きがあるのが良かった。ｅ‐ｌｅａｒｎｉｎｇの過去問がランダムと選択式に出題を選べるところは、授業の課題や追い込み時期などに使える。１０問／回で出題されるもの良い。動画との連動の○×問題は、自ら反復することができるため、これから２年生になると役に立ってく

ると思った。課題・改善点として、動画との連動の○×問題と解答の間違いが目立った。原稿はしっかりしていても、アプリに落とすところで不具合が生じる場合もある。校正力が大きな改善点。動画との連動の○×問題の関係性をもっと高める必要がある。消化器管を色々見ていくとき、戻る場合が一つずつであるため、トップに戻るなどのボタンが必要。予算的には難しいと思うが、ｅ‐ｌｅａｒｎｉｎｇで地域ごとの選択肢があると良いと思った。改善ではないが、ハラスメント系は充実させてほしい。学生もドラッグストアにアルバイトに行っているので、ステップアップ編に入ってはいるが、関心は高い。法改正の内容と見せ方の検討も必要と思うというアンケート結果でした。本事業の目的は、教える指導者の方々の負担軽減につながることを目的としていますので、軽減につながっているという回答を得られたことは良い結果と思っています。このような結果から、全体的に作り込みができていなかったことが反省です。今年度は皆様に提供できるようにしていきたいと考えています。昨年使っていただいた先生方に意見を伺いたいと思います。

【片山委員】確かにｅ‐ｌｅａｒｎｉｎｇのところで問題に対する解答が違ってところが見受けられた。ただ、動画に関しては、学生自身が文字を読むのが苦手な学生にとっては音声で流れる視聴しながら画面を見ることは良かった面と思う。なかなか文字を読み切れないところ、書かれている文章の解釈や理解が追い付かない学生にとっては画面を通して通じるものがあったと感じる。

【菊池委員】前任者が担当していたため、なかなか入る機会がなかったが、学生からは分かりやすかった、ただの座学と違って良かったという意見はあった。

【菅原事務局責任者】補助教材として使えるものであったと思えますか。

【菊池委員】補助教材として使えるものであると考える。

【菅原事務局責任者】先に今年度の具体的な取り組み内容、アプリの細かな修正などについてご説明したいと思います。その後、皆様からご意見を伺いたいと思います。配布資料２０ページになりますが、今年度何を取り組むのかについて列記しています。（1）アプリシステムの見直しと改善につきましては、操作改善などがメインとなります、（2）動画・アニメーションのさらなる改善は、昨年度突貫工事的でしたので整理できていないところが目立ちました。分けるべきところは分け、一つに整理するところは整理するなど行います、（3）過去問の問題と解答の校正強化を数人体制で再度校正を行っています、（4）ＡＲの開発ですが、ドラッグストア店内に人型パネル設置し、タブレットなどをかざすと消化器系の臓器が見られるように進めています。企業様にご協力いただきたいと思います、（5）実証実験の実施として、協力先企業様と一緒に実証実験を行います。これらを実施可能な期間に合わせて開発を進めていきます。大きくはこの５つの項目を今年度行っていきます。修正箇所につきましては、配布資料の２２ページからなります。まずは、過去問の校正を行います。次にログ管理部分で、受講者が入った時間帯や成績表の反映などの詳細設定ができていなかったのでステップアップ編含めて修正しています。過去問についてですが、昨年度の過去問を反映するように作業を進めています。これはｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇと動画と連携の○×部分に反映します。動画とイラストの修正、ハラスメント系の見せ方や法改正、薬の情報、最後に新しく

ＡＲの開発と進めていきます。実際にはどのように進めていくかと申しますと、アプリに入る表示と入った際の表示が違っていたところを修正します。ログ管理も時間の出退を表示し、実際にどの程度学習したのかが管理者に分かるようにします。表示方法も今回の動画整理する際に一緒に合わせていきます。ステップアップ編につきましては、リスク区分や介護系は削除します。ステップアップ編のログ管理は、入った段階から退出したところまでの時間を管理します。動画の修正ですが、昨年度時間的に難しかったため、現在動画入口の表示部分と動画の見出し、説明文、ナレーションにあわせた動きといった動画の全般的な修正、整理作業をしています。次に動画と連携しています過去問○×についてですが、○×を連続して行う場合、一度動画に戻らなくてはいけなかったところを問題と戻るといったボタンを作って、問題はランダム問題を解いていく、戻るは一覧表に戻るといったように作り直しています。３Ｄについてですが、リアルとアニメチックなところの中間で制作を進めています。こちらは、講師と受講生双方向で画像が動かせるようにできる限り反映していきます。ハラスメントですが、昨年度は右に移動していましたが、階層的にしていきます。ＯＴＣ医薬品最新情報についてですが、様々なすべてのものが情報として届き膨大な量になりますので、風邪の症状や鼻水といったある程度カテゴリー分けにしていきます。この点は皆様にご相談していきたいと思います。法改正の部分は見せ方を含め全体的に見直しを進めていきます。ＡＲは、全ての消化器管臓器を見られるようにするとごちゃごちゃになってかえってやり辛くなると思いますので、ある程度絞って見られるようにしていきたいと思います。今年度の取り組みは以上です。皆様のご意見をお願いいたします。等

【中野委員】アプリ内の出題と解答の整合性について問題があったということで、それは今後の指導につながるため、精査は重要と思います。動画のブラッシュアップについても、アンケート回答でもあったように、見た方が良いというところは、今後の教育について効果が出ると感じている。テキストを配って、それを読ませてというやり方が受講する側にとって難しいという受講者には活用していきたいと思う。この点でも取り組む意義があると思う。非常に良い方向に開発できていると思う。ＡＲについても当社の店舗で協力できればと考えている。

【中込委員】分野を限って行っているのか。

【菅原事務局責任者】はい、そうです。

【中込委員】最終的にはこの分野だけの展開を考えているのか。

【菅原事務局責任者】本事業的には、リカレント、リスキリング教育になります。ドラッグストア業界のみならず他業種から入ってくる人にとってハードルを下げた学びやすいものにしたいと考えていますので、普遍的な部分に絞ったコンテンツを考えています。ただ、このアプリが本格的に商業ベースに入る段階においては、様々なことを取り入れる必要があると考えています。

まずは、基礎知識を定着するという点でこのような方向性になっています。

【山本委員】実践的で面白いものになってきていると思った。ただ、アンケート結果からももっと踏み込んで行った方が良いと感じた。

【荒木委員】登録販売者が実践的に学ぶ機会が少ないのが現状では感じている。このようなアプリがあることは異業種からの中途入社の方も入りやすいし、理解も深まると思う。検証しやすい企業ベースであると対応しやすい。このアプリを導入することでその効果が生まれるといったことができればと思う。本事業の目的とはちょっと違うが、登録販売者資格合格率が上がった、お客様の信頼がより得ることができた、リピート率が増えたというデータに基づく結果につながると、ドラッグストア業界にとってこのアプリの作り方と発想は商業ベースに乗ると個人的には思う。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。さらにブラッシュアップする必要があると思っています。改善したアプリが実証実験前の実験的な段階で操作できるようになったときにはお声を抱えさせていただきます。その際には、さらに良くなるように実証実験につきましてご協力の検討をいただけますと幸いです。

【福田委員】良い方向で開発が進んでいると感じた。ドラッグストアの現場サイドで提供できると役に立つと感じている。

【案浦委員】過去問の○×形式が気になる。動画と連携しているところは良いと思う。本当は記述式や選択式があると良いと思う。あと、言葉といったキーワードを書かせる記述式があるとより良くなると思う。

【菅原事務局責任者】ご指摘の選択式は、ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇに組み込んでいます。過去問○×形式のものは、ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇを一問一答的な○×にして作成しています。ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇも○×も過去５年間に出題されたものをランダムに出題されるようにしています。

【案浦委員】ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇと連動しているのであれば問題ないと思う。また、ハラスメントがあるが、内容が結構変化する。ＯＴＣ医薬品情報も更新が必要となるが、その点はどのように対応しているのか。

【菅原事務局責任者】ハラスメント系は社労士を入れています。このアプリの内容もその社労士が作成しています。社労士は法律事務所や企業など幅広く活躍していて様々な情報を持っている方です。ＯＴＣ医薬品情報は、データベースセンターから入手します。ここはメーカーと直結しており、情報が送られてきています。ただし、更新は薬の成分が変更していなくてもパッケージデザインが変更しても送られてきているので、それはこちらでチェックしながら反映していき形となります。商業ベースでするのであれば、毎日の更新は難しくてもなるべく早く情報提供することを考える必要があると思いますが、本事業では予算的にも対応が難しいといったことが現状ですので、アプリに反映する内容は少し古いものになると思います。

【案浦委員】実証実験や検証といったものなので今の作り方は色々なところが見えてくると思うので合格点だと思う。

【菅原事務局責任者】次に、実証実験の時期についてですが、本年度は１１月下旬以降で考えています。昨年度はゼロベースで検討していたことから、時間的に年明けになってしまいました。ＡＲ含めて行っていきたいと思います。そこまでに実装のテストなどは済ませた形

でご用意する方向です。もしかしますと実装テストの段階で使い方など含めてご協力をお願いすることになるかもしれませんので、その際には、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。１１月に入った段階で皆様にご連絡いたします。その際には、実証実験のご協力の検討のほど、よろしくお願いいたします。本日はキックオフ会議ということで、本年度の取り組みの方向性などをご説明させていただきました。

【山本委員】薬機法の改正が具体化してきています。実際に動き始めるのはここ２年以内になります。そのことを踏まえたものを入れておかないと、どこかでそぐわないことが起こると思います。また、登録販売者がカバーする部分が増えてくると思います。一つは介護、介護用品などです。実際に薬剤師よりも登録販売者が主体になっている。二つ目は緊急頻脈や医薬品が一般医薬品に多く移行してくる。橋渡しは薬剤師が行うと思うが、受け皿として登録販売者が機能できる準備が必要と考える。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。このあたりは、またご相談させていただきたいと思います。等

５．閉　会

【菅原事務局責任者】本日は、大変お忙しい中会議出席いただきまして誠にありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。との言葉で会議散会となった。

【会議風景】





＜ 会　議　録 ＞

| | |
|---|---|
| 事業名 | 令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業」 |
| 会議名 | 第１プログラム開発ＷＧ・実証実験ＷＧ合同会議 |
| 開催日時 | 令和７年１０月２２日（水）　１５：００～１７：００ |
| 場　所 | 姫路ハーベスト医療福祉専門学校　会議室・オンラインホスト |
| 出席者 | 委員：<br>【会議会場】<br>菅原　武（事務局責任者）、中野陽介（ゴダイ株式会社）、片山芳信<br>（計３名）<br>【オンライン出席】<br>中込和哉、荒木文明（計２名）<br>（合計５名） |

【 議 事 内 容 】

【 目　的 】

本事業の令和７年度の取り組みの共通認識を行うことを目的とした会議を開催した。

【 次　第 】

１_ １５：００　開　会

２_ １５：０５　議　事

（１）アプリ開発進捗状況

（２）実証実験実施について

３_ １６：５０　その他（連絡事項・意見交換等）

４_ １７：００　閉　会

＜配布資料＞

【資料１】議事次第

【資料２】アプリ修正箇所と掲載内容（ＰＰＴＸ）

【資料３】ＡＲ反映内容詳細（ＰＤＦ）

【資料４】管理者画面追加機能詳細（ＰＤＦ）

【資料５】双方向機能詳細（ＰＤＦ）

以下、次第に沿って会議が進められた

１．開　会

【菅原事務局責任者】この度は、本事業のご協力をいただきまして誠にありがとうございま

す。また、お忙しい中お時間をいただきましてありがとうございます。令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業」の第一回プログラム開発ＷＧと実証実験ＷＧ合同会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。

２．議　事

【菅原事務局責任者】今現在どのような進捗状況かを含め、ご説明させていただきたいと思います。まず、何度もご説明していますが、ズーム機能を使ったもの、動画、オンラインによるｅ‐ラーニングも可能といった全体像で、それぞれ進めています。追って、アプリのＵＲＬとＩＤ／ＰＡＳＳを皆様にお送りさせていただきます。今現在できている見られる機能は、過去問の動画との連携の〇×で、後ほど画面上でお示しいたします。アプリ全体の実装は１１月に入ってからになります。

まず管理者画面ですが、こちらの方もまた後ほどお示しいたしますが、新たにルームを三つ作ります。ルームは一つあたり５０人になります。生徒管理の追加機能でテストの成績など見られるようにしています。テストはランダム出題機能や選択出題でできます。一度に５回各１０問期間を設けて出題できます。ログ管理で点数、日時、間違っていたところ、個人成績と全体の平均がグラフ化されて見られるようになっています。これにより個人の勉強する時間帯や得手不得手が分かります。

３Ｄはこのようになります動画をご覧ください（動画視聴）。次に双方向機能ですが、Ｚｏｏｍのホワイトボード機能を活用したものにしました。オンライン授業で講師が図や資料、テキスト、３Ｄ動画を出して説明したものに対して受講生が扱えるというような機能になります。授業スケジュールに沿った資料を作成しておくことができます。受講生からのものも講師が扱えるようになっています。また、双方向機能は全員が同じものを扱うと収拾できないため、受講生の中の一人が扱えることとなります。その際は挙手ボタンによって、講師が許可した受講生が扱えるようになっています。それを順番に行えるようになっています。

ＡＲですが、ＰＣ、タブレット、スマホでできます。ＰＣはＵＲＬからで、タブレット、スマホはＱＲコードから入れるようにしています。１６０ｃｍほどの人型パネルに喉と食道、下腹部の３ヵ所マーカーを付け、そこにカメラをかざすと画面に動画が出てきます。また、動画をタップすると問い合わせが多い３つの症状が表示されます。それぞれタップしていくと有効成分が表示されます。薬を選ぶ時の基準になるものとしてお客様とコミュニケーションの練習や対面指導といったところで使用できると考えます。マーカーは、人型パネルがなくても使用できるため、スペースを確保する必要はございません。

次はステップアップ編のハラスメント系になります。学生さんなどこれから働く方々や働いている社会人の方々に具体的な事例として伝えられればと思います。間違いの指摘や色々なハラスメントなどの対応の仕方を階層構成でボタンを選ぶと笑顔や困った顔で表現するようになっています。

法改正は、コンビニなどで薬を受け取れることや薬の濫用等に関しての情報を掲載しています。ＯＴＣ医薬品情報に関しましては、８項目に関してデータベースセンターから抽出してそれぞれ反映します。パッケージデザインと成分表、使用方法、用法などを反映掲載しています。

次に、実際に過去問〇×部分を皆さんに見せながら共有していきたいと思います。神経系に中枢神経と反射をクリックしますと動画が流れます。その右下に問題がありますここでは、中枢神経と反射の過去問を〇×形式で５問出題されます。運動神経も見てみますとこのように反映されています。ここでは新たに戻るボタンをクリックしますと一覧に戻るように機能を追加しました。動画もバラバラのところを整理しました。解答結果は５問中何問正解かが見られます。問題はランダムで出題されます。

【中込委員】２つほど聞きたい。最初に見せてもらった登録販売者資格取得者向けのものだが、勉強中に使えるものなのか、あるいは店頭で実際にお客様に対応するときに参考になるように作っているのかどちらか。

【菅原事務局責任者】ＡＲの人型のものは、どちらでも使えるものになります。お客さんとコミュニケーションの取り方のシミュレーション的なことや実際にお子さんを連れて来店して来たお客さんのお子さんにちょっと遊んでいただいてドラッグストアをもっと身近に感じていただけるようなツールとして考えています。ただ、基本的には登録販売者資格取得前の成分説明をする際の接客用教材ツールとして考えています。物があると理解しやすくなることもあるため、登録販売者資格取得を目指す方以外に指導する側にも活かせるものであればと思っています。

【中込委員】研修とか勉強に使うのであればとてもいいと思うが、例えば、お客様を前にしてモタモタしているとよくない。スピード重視で色々なアドバイスが出てくるようなものでないと多分店頭でお客様対応には非常に難しいと思う。

【荒木委員】研修はオンラインで行っているため、パネルを使った研修のイメージがわからない。

【菅原事務局責任者】基本的にはオンラインで、例えばＯＪＴといった指導は、それぞれの店舗に任せているようなものですか。

【荒木委員】基本的にはそうで、試験の資格を取るまでは教えるが、その後は基本的にその店舗でのＯＪＴと継続的研修っていうのがある程度メインである。あとは企業ごとに職種別の研修をやっているところもあるし、やってないところもある。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。

【中野委員】私どものような中小規模であれば、集合研修として集めることもできる。そういう時に受講者にお客さんで喉が痛いって言われた時の接客方法に「どの成分がいいですか？」ということで読み取らせるとかという手法はできると思う。ただ、意見がありましたように、接客の際に使用するとなると興味は引くことできて話を聞いて面白いという反応はあると思うが、その先の推奨という方向に進むとなるとそうではないと思う。楽しませるツール、興味を引かせるツールという認識で「困った症状があれば人型ボードにかざしてみて

ください」というように何か分かるようにしておけば、役割は果たせるかなとは思う。ただ、誰でも触れるようにすることが求められると思う。
【菅原事務局責任者】ありがとうございます。資格取得者を排出する学校の立場として実際にこのような教材を使うことについてご意見をお願いします。
【片山委員】学校では店舗研修をした後に実践形式でこのようなケースの時にはこのような応対が望ましいやり方など接客確認の場を設けた試験をこのような方法で行っている。接客対応などは一つの流れとして視覚的に見るものがあった上で、今度はそれを実践的なものとして自分の言葉で使えるようになるという段階的な教材は無いのでこの点を踏まえると良い教材良いと思う。
【中込委員】過去問の○×形式は、自分の○×の振り返りはできないのか。
【菅原事務局責任者】あくまで自己の中での確認になります。振り返りは、ｅ－ｌｅａｒｎｉｎｇにある本試験形式の方でできるようになっています。この部分だけを管理することは取り入れていません。ここに出てくる文章は全て過去問の文章からですので、立ち止まらず数をこなし慣れることを目的としています。これは初年度のヒアリング調査からの意見を反映しています。ここで過去問ｅ-ラーニングについて操作しながらご説明します。出題の日付、何日に出題し、それがどのような内容で何回目かというところがこのように見られます。本試験形式を反映していますので、実際に受講生自身がどの問題が正解か不正解かが見られるようになっています。成績はそのクラスの平均値と自分の得点がグラフで視覚化されます。これにより苦手な部分の把握ができ振り返りができます。指導者の方は、この結果を参考にオリジナルで問題を作成し、重点的な苦手克服に活用できるようになっています。過去問は９００問以上の問題があり、それをランダム形式と鍛えたい部分を重点に問題が作成できるようにしています。また、結果がグラフデータで受講生が見える状況になりますので、苦手克服に対しても受け入れやすくなると考えます。
【中野委員】章に対する番号の振り分けができているとやりやすいと思う。
【菅原事務局責任者】本事業は２章３章に絞っていますので、その部分になります。また、問題文の横に、出題年度や消化器系や神経系がございますので、その中で選んでいただければと思います。
【中野委員】ページダウンしていかないといけないので、そのようにしなくてもいいように工夫があるといいと思う。
【菅原事務局責任者】時間的な問題もございますので、可能であれば進めたいと思います。
【中込委員】ステップ的な考え方も分かるが、過去問○×理解しているところやしていないところが分かるようになっているといいと思う。
【中野委員】データで出さなくてもすぐにやればいいが、それをすぐにやらない可能性がある。昨日の勉強で理解していたこと、していないことが出てくるといいということになる。
【菅原事務局責任者】その点はあると思いますが、その部分につきましては受講生がその機能を望んでいるかと思います。実証実験で受講生に操作面などを含めてヒアリングして整理したいと思います。アプリですが、１１月上旬に皆様にＵＲＬ、ＩＤ／ＰＡＳＳをお送りい

たしますので、触っていただいければと思います。部屋は一部屋５０人で三つご用意していますので、学校、企業ごとで登録できます。人数は５０人に満たなくても大丈夫です。実証実験の期間については可能であれば１月末ぐらいまででお願いしたいと思います。あと、話が変わりますが、薬機法の法改正により、コンビニで受け取りが可能になるとなっていますが、どのような動きなのか伺いたいと思います。

【荒木委員】乱用の恐れがある医薬品が優先的になるようで、まだ具体的なその話には至ってないと思われる。

【中込委員】乱用等の恐れがある医薬品のリストで、指定濫用防止医薬品という新しい枠組みができました。これは従来の六つの成分以外に二つ加わることになり、検討されているところで近々絞られることになりそうです。今の動きはこちらを優先されている。

【菅原事務局責任者】情報ありがとうございます。あの遠隔の販売形態よりも早い動きということですね。等

３．その他

特になし

４．閉　会

【菅原事務局責任者】本日は、大変お忙しい中会議出席いただきまして誠にありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。との言葉で会議散会となった。

【会議風景】



＜ 会　議　録 ＞

| | |
|---|---|
| 事業名 | 令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業」 |
| 会議名 | 第１回課題分析ＷＧ会議 |
| 開催日時 | 令和７年１２月４日（木）　１５：００～１７：００ |
| 場　所 | 姫路ハーベスト医療福祉専門学校　会議室・オンラインホスト |
| 出席者 | 委員：<br>【会議会場】<br>菅原　武（事務局責任者）、中野陽介（ゴダイ株式会社）（計２名）<br>【オンライン出席】<br>横田　敏、菊池朋恵、荒木文明、西田賢司（株式会社サッポロドラッグストアー森田圭一朗氏代理出席）（計４名）<br>（合計６名） |

【 議 事 内 容 】

【 目　的 】

実証実験報告とアプリ概要・操作について確認と意見交換を目的とした会議を開催した。

【 次　第 】

１_ １５：００　開　会

２_ １５：０５　議　事

（１）実証実験ヒアリング報告

（２）アプリ操作について

３_ １６：５０　その他（連絡事項・意見交換等）

４_ １７：００　閉　会

＜配布資料＞

【資料１】議事次第

【資料２】実証実験報告（ＰＰＴＸ）

【資料３】アプリ仕様書（ＰＰＴＸ）

以下、次第に沿って会議が進められた

１．開　会

【菅原事務局責任者】この度は、本事業のご協力をいただきまして誠にありがとうございます。また、お忙しい中お時間をいただきましてありがとうございます。令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログ

ラム事業」の第一回課題分析ＷＧ会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。本日は、サッポロドラッグストアーの森田様の代理出席として西田様にご出席いただいています。自己紹介よろしくお願いいたします。

【西田委員（森田委員代理出席）】森田と同じ部署でＨ＆Ｂケアを担当しており、主に教育や販売方法等をしています。よろしくお願いいたします。

２．議　事

（１）実証実験ヒアリング報告について説明と意見交換が以下のように行われた。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。本日、よろしくお願いします。それでは、次第に沿ってご報告と説明をしていきます。１１月１４日に本事業の委員にもなっていただいております北日本医療福祉専門学校様で実証実験をいたしました。対象は、昨年度本事業で開発したアプリを実証実験で使ったことがある学生さんで、登録販売者資格を取得しました専門学校２年生１２名です。来年新入社員としてドラッグストアに就職が内定していて、新社会人としてという立ち位置で実証実験を行いました。実証実験の目的としては、アプリの使い勝手、操作の方法や掲載している情報量、登録販売者の資格をまず取るところから店舗管理に向けての入り口の部分のレベル感を段階踏まえた学びの体験ということで実施しました。昨年度との比較を評価、薬の情報、ハラスメント系、昨年度課題であった出題と解答につきまして１０：５０～１２：２０の９０分間実施しました。

アンケート結果は次のようになります。学生一人ひとりにヒアリングした結果です。ヒアリング項目的は、操作方法であったりボリューム感であったりといった登録販売者の資格取得と就職後の店舗管理者を目指すステップアップ編のアプリ反映の内容についてとなります。操作方法は、全ての学生からの声で一つにまとめていますが、操作しやすかったとの回答でした。全体的なアプリのボリューム感については、ちょうどよかった、これ以上多いと混乱するといった結果でした。

登録販売者編とステップアップ編のアプリ内容に関しては、登録販売者編は、二章三章に絞った内容について、量はこれでいいと思う、これ以上ありすぎると疲れてしまう、消化器の臓器動画がもっとリアルでもよかった、消化器の臓器動画がもっとマンガ・アニメ寄りがよかった、漢方関係の動画があるといいと思うなどという結果でした。ステップアップ編は、いいと思う、ハラスメントに関する内容がよかった。就職前に知ることができてよかった、ハラスメント項目が、どれも身近なものでイメージしやすく相談できる内容がイメージできた、法改正も知識として必要だと分かった。読みやすく理解できる内容であった、医療情報も見やすく出来ていた、就職後、学ぶことがまだあることがわかってよかったという回答結果でした。次に、見せ方のレベルなどについて登録販売者編とステップアップ編では、登録販売者編は、学び始めるときに最初にしっかりと理解しなければならないから消化器管系の役割が動画や○×でできるのがよい、学び始めの段階で消化器管系の理解を得るための補助教材としてはいいと思う、これで十分なレベルであるが、ＰＣやタブレットがないと自宅でできないことがもどかしい、聞き取りやすい音声で、文章も分かりやすくなっているのでいいと思う、入りやすい作り方になっているという結果でし

た。

またステップアップ編では、最低限必要なものとして認識できる分量とレベルが整理されていると思う、入りやすい、資格取得した後に学ぶことは多いと思うが、一段ずつ上がって知識を習得する上では、ハードルが下がっている感じがするのでいいと思う、なじみがない法改正が整理されていてよかったという結果でした。その他に要望などは、スマホで見られるアプリがあるといつでも勉強できるのでそのようにしてほしい、ＡＲは面白かった。スマホとＰＣで見比べると大きさが違っていて、ＰＣがより分かりやすかった、ＡＲは代表的な症状があってその症状に効く代表的な成分があるのがよかった。学んだという実感と自分の成長が見えた感じがしたという結果でした。

考察として、アプリの全体的な評価は概ね肯定的でした。昨年度は操作や動きに関して評価が高くなかったのですが、修正後、その評価が肯定的に変わりました。また、登録販売者資格編では、学び始めるときに消化器管の理解から入ることから、その補助教材として十分に活用できる内容であることや分量、レベル感や見せ方、操作に関して高評価の意見が多かった。一方、ステップアップ編においては、なじみのない法改正部分や最新情報、ハラスメント系といったことに関して、社会人になる前に知らないことを知る機会があったことに対しての高評価の意見が多かった。この部分は特に女性の関心が高かく、相談する線引きがイメージできたことにつながったようです。

また、就職しても学び続ける必要性があることを体験できたこと、分量的にもレベル的にもハードルが下がった作り方に肯定的でした。社会人になっての学びの意識付けにはなったと考えます。ここで実証実験についての感想をいただきたいと思います。

【菊池委員】今内定者の学生はアルバイトしているのが多いのでやはりハラスメントのところについては非常に興味を持って友達同士でも話していたという様子が見られた。過去問の〇×は画面でできるが、書き込みができないところが使いづらいということだった。使い慣れの問題とは思う。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。

【中野委員】実証実験の結果として以前触った学生の評価が高くなっているというところは評価に値するが、初めての方にはどのような評価となるところが見たい。まだ勉強していない弊社の内定者向けで取り組んでみたい。ただ、私もちょっと触ってみたところ、理解すればＡＲも含め使いやすい。今の若い方にとっては操作もすぐに慣れると思う。補助教材という位置的にも十分であると思う。等

（２）アプリ操作について説明と意見交換が以下のように行われた。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。次に登録販売者資格取得向けのアプリについてですが、登録販売者共通テキストの手引き（日本薬業研修センター発行）をベースに、神経系と消化器管系、薬が体内でどのように流れるかといったものがあります。消化器管系は咽頭から食道、胃、腸、肛門といった１０個の消化器管全般と各消化器管の特徴を動画で作成しています。例えば、目に見えない胃の動きについて、胃の中に何もない場合は縮んでいて、食べ物が入ると膨ら

むといった風船みたいな動きをするといったように作成しています。また、３Ｄをクリックすると立体的に見えるようにしています。薬は口から飲むものと肛門からの坐剤、打ち身捻挫などに使用する湿布の外用薬の働き方を動画にしています。神経系で末梢神経の動画を開きます。動画の横にある問題は、自己学習で数をこなし、問題文の表現など出題形式に慣れるように、過去問○×でこれらの動画と連動しています。横の問題をクリックしますとこのような５問主題され、問題を読んで○か×を選びます。また、問題をクリックすると違う問題が出題されます。この出題内容は、過去６年分の出題の中からランダムで出題されており、神経系と消化器管系を抜粋して動画と選択式で出題されている問題を一問一答形式に作り直して反映しています。末梢神経には末梢神経の内容が出題されています。数多く反復できるようにしています。学び始めるときに、消化器系は一つの消化器管に対して１コマを使って学んでいくため、動画がある補助教材があると理解するスピードが速くなると思われます。動画の横の問題から入れるようになっています。ｅ-ラーニングの過去問も同様にしています。出題形式は、過去問○×ではランダム形式にしています。１回５問出題され、解答後に評価を押すと正誤と解説が出て来ます。さらに問題ボタンをクリックすると問題が出て来ます。戻りボタンで動画に戻ります。

ｅ-ラーニング過去問は、実際の試験形式で出て来ます。この一覧表ランダム形式と講師側の方から選んで色々カスタムできるようにしています。さらに、ここで追加の文章も作れると問題も作れるようになっています。問題数は９００問程度で、過去問○×はその約３～４倍あります。

ステップアップ編では、薬の情報やハラスメント系、法改正を更新しています。ハラスメント系は、このように階層で進むようになっていて、顔の表情で判断できるようになっています。間違っていくとこのように最後に解説があります。法改正は、このようにコンビニでも受け取られることや濫用のことを整理して掲載しています。薬の情報は、目や喉、解熱鎮痛といった症状を８つのカテゴリーにして掲載しています。このように名称から入り、デザインが少しでも変わると情報が見られるようにしています。それを毎日は難しいですが、更新できるようにしています。パッケージデザインと成分表、使用方法などを掲載するようにしています。ハラスメント系は、容姿の部分や業務に関することについて掲載しています。

例えば、レジの対応についての流れを入れています。選択式で、従業員の表情によって対応の良し悪しが出るようにしています。実際に働いている方、新社会人や内定者、接客業未経験者と幅広くイメージできるようにしています。法改正は、コンビニでの受け渡しに関することや薬の濫用についてなるべく理解しやすいように簡潔に要点を整理して掲載しています。

あと、ＡＲですが、マーカーのかざすと３Ｄと代表的な症状例が出てきて、症状例をクリックするとその症状に効く成分が出てくるようになっています。

次に、ｅ-ラーニングの確認テストについてですが、はじめに管理者の方について説明します。こちらのダッシュボードに過去問９４０問があります。受講生管理でｒｏｏｍごとに一覧表が表示されます。ｒｏｏｍは４つあります。出題は一度に５回分でき、その期間を一週間、一カ月といった括りで設定できます。ランダム方式とカスタムでできるようになっています。ログ管理で一人ひとりの成績、全体の平均と個人の点がグラフで見られます。また、どの部分を見ているといったものを一人ひとりどの時間帯に入って学習しているかがわかります。他に、１回～５回の

平均と個人の成績、正誤の部分をクリックするとその問題が出てくるようになっています。５回ワンセットになっていますので、数多く過去問によるトレーニングができるようになっています。出題方法はランダムとカスタムを選んでできるようにしています。ランダムを選びますと９４０問の中から出題されます。カスタム方式は神経系や消化器管系を集中的に選んで出題できるようになっています。他に、時間帯を決めたホワイトボードを使った機能もあります。これは、テキスト一度作成すると何度でも利用できるようにしていますので、都度、プリントアウトなどをする必要がないとともに、オンラインで対面に近い指導ができるようになっています。等

【横田委員】アプリが充実して感心している。当会の会員にも案内していきたいと思う。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。ぜひお願いします。

【横田委員】その中で登録販売者資格取得者に向けた内容、アップデート的な研修内容に近いものを反映しているので、これをそのまま案内するような形になるのか。

【菅原事務局責任者】現時点ではそうなりますが、今後は、ベースとなる部分はこちらで更新していくことができますが、費用は別途掛かりますがこのシステムの機能を活用して内容をカスタマイズしてご案内できるようにもなります。ただ、これまでにない機能がありますので触っていただかないと判断はできないと思っています。

【横田委員】このシステムの機能を使うということは、どなたが管理者になってということになるのか。

【菅原事務局責任者】はい、あくまで個人ベースではないので教育指導者の方などが管理者となって社員の知識レベルや学習進捗状況、評価を見る形となります。

【横田委員】本事業が終わる最終年度までこのアプリは使えるのか。

【菅原事務局責任者】使えます。ただ、本事業期間以降続けるには最低限のサーバー管理費や更新費用は必要ですので、できれば本一冊程度、年間２，０００円いくかどうかぐらいで使い放題にできればと考えています。ただ、内容を統一するのであればできるのですが、個々になると難しいと考えます。やはり自社に沿った内容でやりたいと考えるのは当然と思いますし、これも利用者数次第になると考えています。

【横田委員】了解した。会員に案内するやり方を考えていく。

【菅原事務局責任者】なるべく多くの方に使っていただきたいと思いますので、ご協力いただけますと幸いです。

【山本委員】特に気になったところは、法や税の所について常にアップデートはしていく必要があると思った。情報提供という形でアップデートはしていってほしい。

【荒木委員】企業目線からいくと、各企業様々あると思うが、使っていくイメージが湧きにくい。弊社であればその記憶の定着を図るために色々なソフトを導入している、そういったものからすると退化するスピードもある。弊社も登録販売者資格取得の合格率に力を注いでいて首都圏の合格率を維持するため、色々な工夫を盛り込みながら、いかにやる気を出させるか、同じ時間で効率的に記憶を定着させるため、色々なソフトを導入しながら統合して今現状その登録販売者の試験対策っていうものに当てはめている。この現状で一気に移るっていうのはなかなか難しいというのが印象としてある。ただ、ＡＲの部分は継続定期な観点でいえば、離脱する一定数の社員に

対して効果があると思われ、導入するハードルは低いと思うが、試験的な段階を得ないと全員に一気でということは難しいと思う。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。ご都合のよろしい時間があるときにご説明含めて体験できればと思いますがいかがでしょうか。

【荒木委員】了解した。連絡ください。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。初めてのご参加で恐縮ですが登録販売者資格取得と知識定着を目指した消化器系と神経系に絞った内容と、社会人としての学び足しのステップアップ編につきまして全体的なアプリ構成につきまして西田様にご意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

【西田代理委員（森田代理委員)】登録販売者資格取得に関しては、隙間時間、例えば移動中やお昼休みといった働きながら資格を取ろうとされる方が短い時間の中でわざわざテキストの過去問を持って勉強する時間が取れない方が活用することに関しては、復習という意味では、一問一答式二択といった○×形式は、その時間を活かすという意味では有りと感じた。また、継続的な部分では、資格を取って現場で働いている方にハラスメントの部分で新社会人となる有資格者の専門学校の学生が興味を示していた結果を踏まえると実務につながるところと思った。あと、今後も厳しくなるとされている乱用の医薬品の難しい対応を迫られる部分を具体的に伝える形の反映は、継続的に学習できる仕組みを作ることができれば、法改正に合わせてアップデートできる可能性が十分にあると思った。

【菅原事務局責任者】ありがとうございます。今月に当校の１年生と来月に北日本医療福祉専門学校の１年生に学びはじめという位置づけにおいて、実証実験を行います。企業の皆様には調整が難しいとは思いますが、ご協力を引き続き、お願いしたいと存じます。等

３．その他

特になし

４．閉　会

【菅原事務局責任者】本日は、大変お忙しい中会議出席いただきまして誠にありがとうございます。個別にご相談させていただくことがあると思いますが、引き続き、よろしくお願いいたします。との言葉で会議散会となった。

【会議風景】



＜ 会　議　録 ＞

| | |
|---|---|
| 事業名 | 令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業」 |
| 会議名 | 第２回企画推進委員会会議 |
| 開催日時 | 令和８年１月２０日（火）　１５：００～１７：００ |
| 場　所 | 姫路ハーベスト医療福祉専門学校　会議室・オンラインホスト |
| 出席者 | 委員：<br>【会議会場】<br>菅原　武（事務局責任者）、中込和哉、中野陽介（ゴダイ株式会社）、<br>片山芳信<br>（計４名）<br>【オンライン出席】<br>横田　敏、山本恭之（計２名）<br>（合計６名） |

【 議 事 内 容 】

【 目　的 】

本事業で開発する補助教材アプリの最終確認、および今後の実証実験の確認を目的に会議を開催した。

【 次　第 】

１_ １５：００　開　会

２_ １５：１０　議　事

（１）補助教材アプリについて

（２）事業のご感想（ご出席委員皆様からのご感想）

３_ １６：５０　その他（連絡事項）

４_ １７：００　閉　会

＜配布資料＞

【資料１】議事次第

【資料２】補助教材アプリ

【資料３】補助教材アプリ仕様（ＰＰＴＸ）

以下、次第に沿って会議が進められた

１．開　会

【菅原事務局責任者】この度は、本事業のご協力をいただきまして誠にありがとうございま

す。また、お忙しい中お時間をいただきましてありがとうございます。令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発「一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業」の第二回企画推進委員会会議を開催いたします。最終年度まで続けられたもの皆様のご協力のおかげです。誠にありがとうございます。本事業最後の会議となりますが、よろしくお願いいたします。

２．議　事

（１）補助教材アプリについて以下のとおり説明と意見交換が行われた。

【菅原副本部長】振り返り的になりますが、補助教材アプリがどのように開発されているかについてご説明いたします。本アプリの仕様書は追って皆様にお送りいたしますので、そちらと照らし合わせて本会議後、ご確認いただければと存じます。その際に、使い勝手やこのようにした方が良いなどの様々なお声をいただけますと幸いです。

ログイン画面から入ります。この中心画面は受講生が入るところです。講師や教職員の管理者の方は右下の管理者ログイン画面になっています。教室は４つ用意しています。各企業・団体・学校毎に用意できるようになっています。他の教室の情報は、その教室の管理者でないと見られないようにＩＤ／ＰＡＳＳを各それぞれ発行します。教室の入り方は、管理者の方からの紹介メールで受講生ごとにＩＤ／ＰＡＳＳが自動配布されそれをログイン画面に入力することで入れるようになっています。

次に資格取得者向けと有資格者向けの説明をいたします。登録販売者の資格取得向け試験を挑む際に、イメージしにくい部分の神経系、消化器系、体の中での薬の流れ方、それぞれ出題された過去６年分の過去問を動画と連動した〇×形式と本試験の形式を組み込んでいます。ここで、動画と連動した〇×形式を流しながらご確認いただければと存じます。動画が流れている右下に問題があり、ここから〇×形式で解答していきます。この問題は２０１９年から２０２４年度までの過去問を一問一答形式の〇×に作り替えて作成しています。数をこなすため、１回を５問設定で作成しています。動画簿途中でも問題ボタンをクリックすると動画が消えて問題一覧に変わります。評価ボタンは正答数と解答・解説がでてきます。また問題ボタンをクリックすると違う問題がでてきます。問題はランダムに出てくるようになっています。ただ、ランダムで出題されるので、前回の問題が出てくる場合もあります。成績表はなく、あくまで自己学習のためです。スマホでも可能ですので、自宅でも電車の中でも何度でもできます。ただ、スマホの場合は、ＰＣやタブレットより画面が小さいため、ボタンの位置がずれて表示されます。許可が必要で予算の関係上のことでもありますので、ご承知いただければと思います。戻るボタンをクリックすると一覧表に戻ります。

次に試験対策テストですが、１回５セットを設定できます。１セット１０問です。１日５セットや毎日１セットずつなど期間を決めた使い方は様々できます。追い込みの期間は、１カ月６００問以上させると思われますが、２章と３章部分は、１日５０問出題できるようになっていますので、十分対応できると思います。詳細設定でご不明な点がございましたら、

ご連絡いただければと存じます。

また、ＡＲですが、咽頭、胃、大腸の３つを作成しています。カメラにマーキングを映すと臓器と代表的な症状が出てきて、その症状を改善に向かわせるには、代表的な有効成分が入っている薬を導く参考になるようなものにしています。ただ、場所的なものもありますので、体験ボタンを横に設置しました。３Ｄで臓器を回したり、大きくしたり、小さくしたり動かせるようになっています。ＡＲと同じで、咽頭、胃、大腸の代表的な症状と有効成分が見られるようになっています。新社会人になる登録販売者資格取得した北日本医療福祉専門学校二年生１２名に実証実験しましたが、「これ習ったね」「こういうのは必要だったよね」といった声が多く、学び直しや振り返りの部分にも使用できると感じました。

次に、ステップアップ編についてのご説明になります。登録販売者有資格者向けにＯＴＣ医薬品情報や法改正、ハラスメント系と掲載しています。ＯＴＣ医薬品情報は、商品一覧表の商品名をクリックすると、パッケージデザインと成分表が見られるようになっています。ただし、商品情報をマ一に更新することは仕分けの時間も考慮すると時間が掛かりますので現段階では難しく、一定期間での更新になると思います。自社のドラッグストアでは扱っていない商品も掲載されるため、商品情報のアップデートにつながると思います。

ハラスメント系ですが、代表的な事例一覧表を作成しました。現段階ではこの内容ですが、企業によって学んでほしいシチュエーションが異なると思いますので、必要に応じて企業ごとの内容に変更することが可能です。事例をクリックすると、選択ボタンが出てきますので、どのように接するかボタンを選んで進んでいくようにゲーム感覚的なもので階層を作っています。社員が笑顔になると好ましい対応で、悲しい顔になると考える必要があるといったいきなり解説文章を読むよりも、視覚的に確認して解説文章を読むことができるようにしています。

法改に関しましては、２０２５年５月に改正された内容を反映しています。薬の濫用の指定濫用防止医薬品やコンビニで受け取れるといったところを整理して掲載しています。

ここまでは、受講者目線のものですが、次に管理者がどのように管理できるのかといったところをご説明します。部屋が１０１～４０４までの４部屋あります。１部屋５０名まで入れるようになっています。成績の確認ですが、試験対策テスト出題個々にその部屋の平均と学生個人の成績がグラフで出てきます。個人の１～５回の成績の問題と何が間違っているかも見ることができますので、苦手な部が確認できるようになっています。また、グラフとどこにどれほど居たのか秒単位で入った時間帯が分かるようにログ管理機能を取り入れています。ログは、動画や過去問○×、法改正、ＯＴＣ医薬品情報、ハラスメント系といったこのアプリのコンテンツにすべて反映しています。

試験対策テスト管理の中の問題一覧ですが全部で９６０問神経系と消化器系の２章３章の部分があります。ランダム出題とカスタム出題ができます。ランダムで問題番号が出てきますが、確認したいところに合わせて虫眼鏡ボタンをクリックするとその問題が反映されるようになっています。日にちごとに問題をセットできるようになっています。その日に★マークが付いていると反映した印になります。

オンラインの場合は、Ｚｏｏｍ機能を使っています。ただ、仕様書に書いていますが、今使えるようにしている方は、一度ログアウトしていただいて仕様書通りに設定する必要がございます。ここでは、会議を中断する形になりますので、割愛させていただきます。駆け足的なご説明でしたが、詳細は仕様書をご覧いただければと存じます。ここでご意見を伺いたいと思います。

【横田委員】登録販売者に関わる法改正やハラスメントといった資格取得だけに留まらず、幅広く登録販売者に関わる内容が入っているので、親しみやすいと改めて感じた。

【片山委員】試験対策のテストのところだが、最初こうランダム表示をして、それを変更してカスタムすることができるとあったが、風邪薬などのカテゴリではできないのか。

【中野委員】キーワードで出題できると面白いと思った。例えば、ランダム問題を選択するときに、風邪薬のボタンがあると面白いと思った。あと地域なども。

【菅原事務局責任者】会議の中でお話はありましたが、予算の都合上、反映できていません。一覧表の中で若い数字が最新になっていますので、そこで選んでいただければと存じます。ただ、神経系や消化器系と年度が入っています。

【片山委員】問題をセットすると、このセットが一旦クリアしないと次の作成はできないのか。何日間セットすることは可能か。

【菅原事務局責任者】日付ごとにセットできるようになっています。テスト１、２、３とありますが、日付ごとに１日３回各５セット、１５セットまで可能です。

【中野委員】反映の★印は何個も可能か。毎日可能ということか。

【菅原事務局責任者】日付で時間帯設定のプログラムはしていませんので、当日はできませんが、次の日以降毎日でも可能です。

【中込委員】問題数を増やすことはできないのか。

【菅原事務局責任者】問題数は固定で１回１０問です。

【中込委員】本番模擬試験みたいにはできると良い。一章の問題二章の問題三章の問題四章の問題五章の問題っていう感じで、一章とかは２０問だが、三章が４０問。というように抽出してできないのか。

【菅原事務局責任者】テキストの補助教材を使用することによって知識の定着率向上に開発していますので、登録販売者資格取得をメインに開発することは別物になり、本事業の目的ではございませんので、そこまでは寄り添っていません。ご提案いただきましてありがとうございます。

【中込委員】ここまで完成しているからここで終わらすともったいないので、そこまでできればと思った。

【菅原事務局責任者】評価いただきましてありがとうございます。本試験に沿った形は、開発業者の協力も必要ですので、この先検討していきます。

【山本委員】イメージしていた以上にとても合理的にでき上がったと思う。確認だが、苦手部分などが分かるようになっているのか。

【菅原事務局責任者】試験対策テストの成績一覧表の中から確認できるようになっていま

す。あと、ログ管理でどこを長く見ているのか、何を長く勉強しているのかの時間が分かりますので、そこで一人ひとり確認できるようになっています。
【山本委員】理解した。等

（2）事業のご感想（ご出席委員皆様からのご感想）
【菅原事務局責任者】最後に本事業の感想をお願いします。
【中込理事長】良いものができたと思う。これをベースに膨大な量にはなるが試験対策に特化した全範囲を反映したものを開発してもらえればと思う。
【中野委員】とても貴重な体験をさせてもらった。内容も特にステップアップにハラスメント対策などは非常に苦慮している部分でもあるので、今後もっと更新して、増やしていただけると有効なものになると思う。あと、実証実験について、内定者向けに考えていたが、難しいため、社内調整して後ほど連絡する。
【菅原事務局責任者】ご感想ありがとうございます。また、実証実験につきましてご連絡お待ちしております。指導者の立場など、他の社員の方のご意見を伺えればと思います。
【横田委員】３年間ありがとうございました。日本医薬品登録販売者会という登録販売者の職能団体に所属しているので、当会のホームページに補助的な教材開発のニュースリリースを上げたいと思う。ニュースリリースをもらえば、ホームページにて会員に紹介する。
【菅原事務局責任者】ありがとうございます。ニュースリリースを作成しますので、是非とも、よろしくお願いいたします。
【横田委員】できあがったら送ってほしい。
【山本委員】最初は手探り状態で方向性も定めることが難しかったが、会話を重ねるにつれて色々見えてきたことがとても良かったと思う。全般的なことでは、やはり現場、それから一般の消費者に医薬品、健康に関わるところの接点が多い。法改正も進んでいるので、やはり登録販売者と薬剤師がよりシームレスなつながりを持って一般国民の方々に医療や薬品の情報提供ができるようになればと改めて実感する機会であった。
【片山委員】３年間ありがとうございました。今回、こういった事業に参加させていただき、非常に自分自身、まず勉強になった。実際、学生に話をしていく中で、書面では伝えにくいところが、視覚的にこのような補助教材の作成によって学生に反映できるものが形にてきたことに、非常に良いものになったと感じている。やはり学生を見ていると、パソコンで補助教材を授業で使っているが、通学など携帯などの端末できれいに見られるともっと良いと感じた。
【菅原事務局責任者】３年間、長きにわたりありがとうございました。皆様のご協力がないと、ここまでのものができ上がることはできませんでした。色々ご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。今の学生はやはり情報を取る手段が画像や動画の世代です。なかなか本を読んで物事をイメージするのが非常に苦手な世代ですので、そういう意味では今の学生に非常にマッチした取り組みであったと思います。
また、開発しました補助教材アプリはあくまでもベースとして考えています。今後、どのよ

うにブラッシュアップしていくか、もっとシンプルにできないかと色々と検討しながら、また皆様にご相談するかと思いますので、その際はご協力のほど、よろしくお願いいたします。
　皆様からのご知見と、それからあと時間とそれから費用をかけてここまでのものができましたので、何とか自走できるように形になればと思います。等

３．その他（連絡事項）
【菅原事務局責任者】オンラインでご出席の方々には、謝金の振り込みをした後、領収書をお送りいたしますので、そこにご記入の上、返送のほど、よろしくお願いいたします。等

４．閉　会
【菅原事務局責任者】本日の会議はこれにて終了させていただきます。皆様、本当に３年間ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。
との言葉で会議散会となった。

【会議風景】



## １．咽頭～食道

上咽頭、中咽頭、下咽頭にわけられ、食道の入り口まで。
下咽頭から続く食道を含めた消化器として、解釈しました。
「飲食物が口腔から受け入れられ、胃へ送り込む働き」ができているかどうか。

**【１．胸やけ、すっぱいものが上がる。呑酸（どんさん）】**

①胃液、消化酵素等が、逆流している。
«胃酸分泌過多、ストレス»
⇒消化管機能改善薬➡六君子湯
⇒粘膜保護薬➡テプレノン、銅クロロフィリンナトリウム、甘草
⇒制酸薬（胃に作用して）➡水酸化マグネシウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸マグネシウム
⇒芳香性健胃薬➡ウイキョウ、チョウジ、ケイヒ、チンピ、ハッカ、メントール
⇒プロトンポンプ阻害薬（胃に作用して）➡ラベプラゾール、ランソプラゾール（要指導医薬品）
⇒H2 受容体拮抗薬➡ファモチジン、ラニチジン（第 1 類医薬品）

**【２．嘔気、吐き気】**

①（食後 30 分）：食道の飲食物の運搬が滞っている。
原因：過食、ストレス
⇒消化酵素➡リパーゼ（脂質分解酵素）、ジアスターゼ（タンパク質・炭水化物分解酵素）
ウルソデオキシコール酸

②（食前または、空腹時）：胃の運動機能低下、胃酸過多、ストレス
⇒制酸薬（胃に作用して）➡水酸化マグネシウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸マグネシウム
合成ヒドロタルサイト
⇒消化管機能改善薬➡半夏瀉心湯

③（食事に関係なく）：胃の運動が低下
⇒消化管運動亢進薬➡厚朴（半夏厚朴湯）、蘇葉
⇒制吐薬➡半夏（半夏瀉心湯、半夏厚朴湯）

④乗り物酔い
⇒鎮暈薬➡ジフェニドール塩酸塩
⇒抗ヒスタミン作用➡ジフェンヒドラミン塩酸塩、クロルフェニラミンマレイン酸塩、
メクリジン塩酸塩、ジメンヒドリナート
⇒制吐薬➡（抗コリン作用）スコポラミン臭化水素酸塩
➡（局所麻酔薬）アミノ安息香酸エチル

⑤飲酒（飲みすぎ）・・・胃の症状も含む

⇒利胆薬（過飲酒）➡ウルソデオキシコール酸、熊胆、

⇒肝機能改善薬➡肝臓分解エキス

**【３．胸部のつかえ、のみこみにくい、のどがつまった感じ。】**

食べようと思っても食べ物がのどに入らない。

①嚥下機能低下、食道運動低下

«ストレス»

⇒食道運動亢進作用➡厚朴（コウボク）、半夏厚朴湯

**【４．口の中を苦く感じる】**

口が渇く、味覚異常

①ストレス、内臓疾患

«ストレス、睡眠不足、肝疾患»

⇒苦味健薬➡リュウタン（ゲンチアナ）、オウレン、オウバク（ベルベリン）

⇒芳香性健胃薬（メントール）

⇒生薬（柴胡：小柴胡湯）

**【５．痛む】**

食道穿孔、循環器系疾患、がん、その他内臓疾患の疑い

（本来、食道は痛みを訴えにくい部位）

⇒受診勧奨

咽頭から食道にかけての症状は、様々な疾患が内在する可能性があるので、慎重に対応をしたい。

（消化器疾患のほかに、甲状腺機能障害、咽頭がん、食道がん、肝炎、梅核気、うつ症状、自律神経系疾患、過食）

## ２．胃～みぞおち

食道から続く、飲食物が受け入れられる平滑筋の袋で、十二指腸に続く。
噴門部と幽門部で、症状に現れ方が異なるので、聞き取りに注意。
（胃はどんな症状ですか？　オープンクエスチョンの方が、症状の把握がしやすい。）

**【１．痛み】**

①鈍痛（シクシク痛む）
⇒粘膜保護薬➡アルジオキサ、スクラルファート、テプレノン、セトラキサート塩酸塩、銅クロロフィリンナトリウム、銅クルルフィリンカリウム、アカメガシワ、甘草
⇒粘膜修復薬➡メチルメチオニンスルホニルクロリド、アズレンスルホン酸塩、テプレノン、甘草、銅クロロフィリンナトリウム、アルジオキサ
⇒制酸薬➡水酸化アルミニウムゲル、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸マグネシウム、酸化マグネシウム、合成ヒドロタルサイト
⇒プロトンポンプ阻害薬➡ラベプラゾール、ランソプラゾール（要指導医薬品）
⇒H2 受容体拮抗薬➡ファモチジン、ラニチジン（第 1 類医薬品）

②慢性的な鈍い痛み、ストレス
⇒胃液分泌抑制、抗コリン薬（ロートエキス、トリメブチン、ピレンゼピン塩酸塩）
⇒制酸剤（①鈍痛の項参照）➡水酸化マグネシウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸マグネシウム
⇒プロトンポンプ阻害薬➡ラベプラゾール、ランソプラゾール（要指導医薬品）

③疝痛（差し込むような痛み）
⇒（抗コリン薬）➡ロートエキス、ブチルスコポラミン臭化物

④空腹時に痛む（①②の項を参照）
胃粘膜保護修復薬➡スクラルファート

**【２．胃が張る、もたれる】**

⇒消化管機能改善薬➡六君子湯、平胃散、五苓散
⇒消泡薬➡ジメチルポリシロキサン（ジメチコン）
⇒消化酵素➡リパーゼ（脂質分解酵素）、ジアスターゼ（タンパク質・炭水化物分解酵素）、プロザイム、ニューラーゼ、セルラーゼ
⇒利胆薬➡ウルソデオキシコール酸、胆汁末、デヒドロコール酸
⇒芳香性健胃薬➡ウイキョウ（茴香）、ケイヒ（桂皮）、チョウジ（丁子）
⇒苦味健胃薬➡センブリ（千振）、オウレン（黄連）、オウバク（黄柏）
⇒健胃薬➡カンゾウ（甘草）、ブクリョウ（茯苓）、

**【３．食欲不振】**

⇒消化酵素➡リパーゼ（脂質分解酵素）、ジアスターゼ（タンパク質・炭水化物分解酵素）

ウルソデオキシコール酸

⇒消化管機能改善薬➡コウボク（厚朴）、ショウマ（升麻）、平胃散、六君子湯、補中益気湯

芳香性健胃薬➡ウイキョウ（茴香）、ジンコウ（沈香）、ケイヒ（桂皮）

苦味健胃薬➡ゲンチアナ（竜胆）、オウレン（黄連）、オウバク（黄柏）、センブリ（千振）

食欲増進作用➡ニンジン（人参）、ケイヒ（桂皮）、サンザシ（山査子）

Q 胃の部位を確認する。

・肋骨中央直下

・みぞおち付近

・臍の上

Q 症状の継続性

いつ頃からですか

・昨日、今日から

・約１週間ほど前から

・約１カ月以上続く

Q 胃の痛みがありますか

・どんな時に痛みますか（空腹時または、食後２時間後）

（起床時、食前）

（食後２時間以内）

Q 症状の変化

・飲食の影響を受けるかどうか

影響がある場合

どのような飲食が症状を悪化させますか

影響がない場合

姿勢の影響

生活時間の影響（起床時、仕事中、夜間等）

・どんな痛み方ですか　（さすような固定痛、限局的）

（痙攣性の痛み）

（鈍い痛み、広がる痛み）

（腹鳴を伴う）

Q 嘔気、嘔吐

Q 排便を確認（軟便、硬便）

# ３．下腹部

**【１．痛み】**

①疝痛➡

⇒抗コリン薬➡ロートエキス、ブチルスコポラミン臭化物

②腹鳴・便意

⇒収斂薬➡ベルベリン

**【２．下腹部の張り】**

①（便秘・軟便に関わらず）

整腸薬⇒腸内細菌➡ビフィズス菌、フェカリス菌、アシドフィルス菌、酪酸菌、納豆菌

⇒生薬➡ゲンノショウコ

②（胃の症状あり）

⇒整腸薬＋消化酵素薬併用

③漢方処方

➡（慢性症状）平胃散、六君子湯

➡（冷え腹）理中湯

➡（水様便）五苓散（しぶり腹には禁忌）

**【３．急性下痢・軟便】**

収斂薬➡オウバク（ベルベリン）

脱水を伴う⇒水分吸収促進薬➡ロペラミド

（発熱、または嘔吐を伴う場合）感染症の疑い⇒整腸剤（参照）推奨し、水分吸収促進薬は禁忌。

電解補水液を飲用すること

**【４．便秘】**

（左下腹部痛もしくは下腹部の張り）

塩類下剤➡酸化マグネシウム（膨潤性で効果を出すため、水分を 200ml 以上服用すること。）

刺激性便秘薬➡センナ末、センノシド、ビサコジル、ピコスルファートナトリウム、大黄甘草湯

潤滑薬➡麻子仁丸（刺激がないので慢性便秘や高齢者に）

整腸薬➡ケツメイシ（決明子）

＜小腸＞

小腸は自覚症状を訴えにくい臓器です。いわば、無言の消化器。
「小腸」と「胃」を、問診だけで部位を区分けして対応するのは、難しいように思います。
小腸（十二指腸を含む）と胃底部は、上位、下位の位置関係でなく、重層に近い位置関係です。
また、小腸と大腸も同様。
大腸だけをみると、上行結腸、横行結腸、下降結腸の位置が比較的説明がしやすいので、お客様の対応では胃部と大腸を区分けしてイメージし、いずれにも属さない部分については消化器機能で症状を確認するほうが対応しやすいと思います。

また、空腹時と食後とでも、様子が変わります。
どちらかというと、食事の影響があるか、影響がないか。
食事の影響が少ない場合、空腹時に症状が強いか、断続的に 24 時間を通して症状がある。
飲食よりも、自律神経系の影響が強いと推測します。
ならば、睡眠の状況はどうか。
女性の場合、生理周期はどうか。

先に、
１．胃部の症状を確認する
２．大腸付近（１上行、２横行、３下降）の症状を確認する
３．胃部にも大腸付近にも属さない症状は、胃に続く十二指腸や消化器の機能面の症状と推測することができます。

《MEMO》

本「成果報告書」は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、«学校法人摺河学園姫路ハーベスト医療福祉専門学校»が実施した令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育（リ・スキリング）推進事業」の成果をとりまとめたものです。

令和７年度「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育（リ・スキリング）推進事業」専門職業人材の最新技能アップデートプログラムの開発

一般用医薬品販売資格（登録販売者）に関するアップデートプログラム事業　成果報告書

令和８年２月発行

発行所・連絡先

学校法人摺河学園　姫路ハーベスト医療福祉専門学校
〒670-0962　兵庫県姫路市南駅前町 91-6
TEL 079-286-5801　FAX 079-224-1779
http://www.harvest-school.com

本書の内容を無断で転記、転載することを禁じます。